

7. 回答者の居住環境

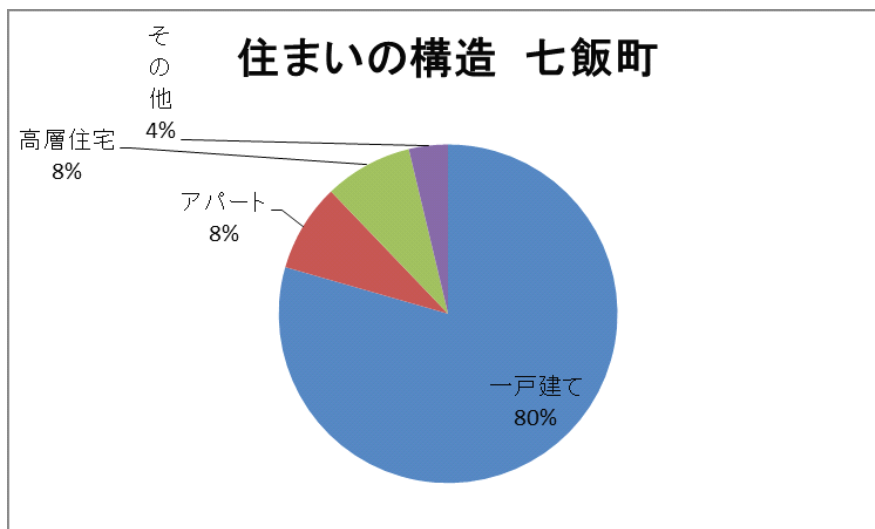
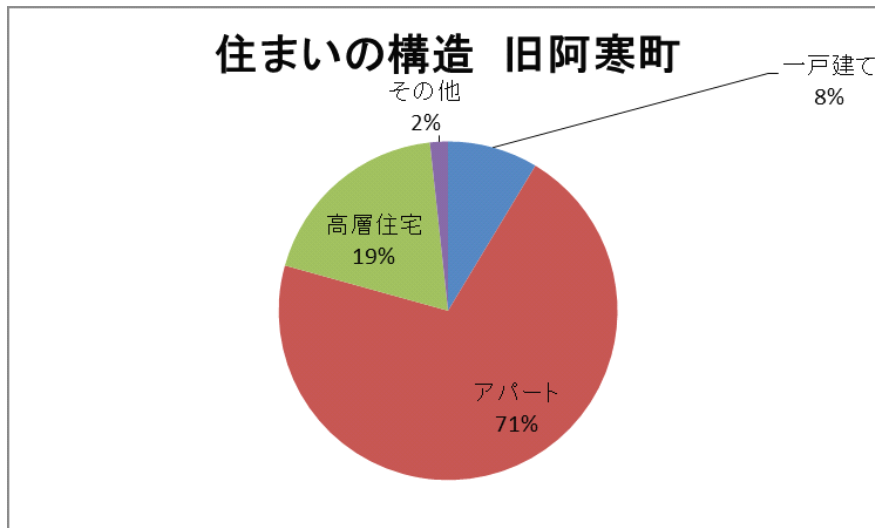
回答数の多い順番は「一戸建て」、「アパート」、「高層住宅」となった。一戸建ての回答のみで全回答の約6割を占めている。阿寒町以外は、一戸建てが最も多い。また、アパートと高層住宅は地域によって順位が変化する。

後述のデータで浮き彫りになるが、旧阿寒では公営住宅居住者の比率が高い。一方、本別は、農村地域であることが関係しているとみられるが、戸建て居住者の割合が高い。

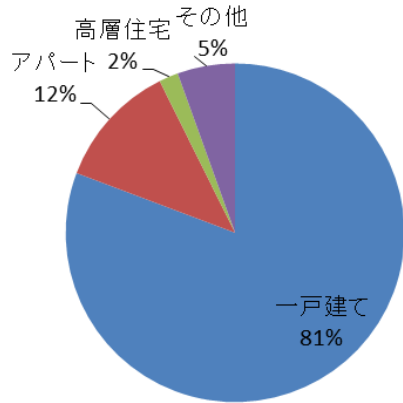
この点は、地域の社会関係に影響があり、後述する近隣関係をみても比較的交流のある関係が多いとみられる。

	一戸建て	アパート	高層住宅	その他	合計
旧阿寒町	5 8.6%	41 70.7%	11 19.0%	1 1.7%	58 100.0%
七飯町	85 79.4%	9 8.4%	9 8.4%	4 3.7%	107 100.0%
浜頓別町	88 80.7%	13 11.9%	2 1.8%	6 5.5%	109 100.0%
本別町	94 94.0%	4 4.0%	0 .0%	2 2.0%	100 100.0%
札幌市	103 57.5%	43 24.0%	31 17.3%	2 1.1%	179 100.0%
合計	375 67.8%	110 19.9%	53 9.6%	15 2.7%	553 100.0%

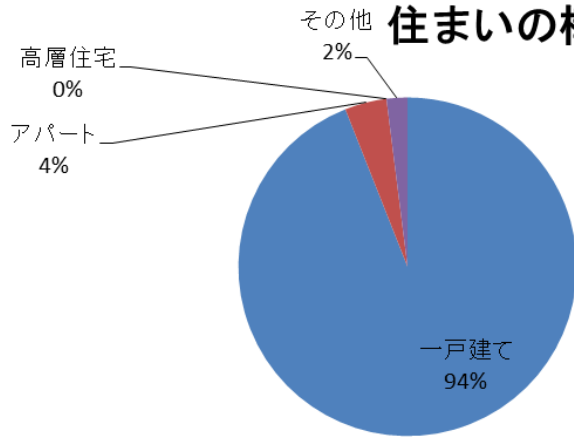
※欠損値 60



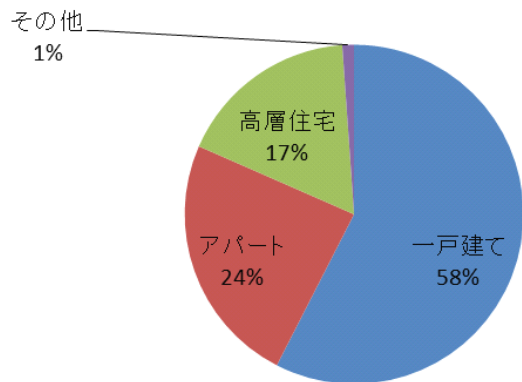
住まいの構造 浜頓別町



住まいの構造 本別町



住まいの構造 札幌市

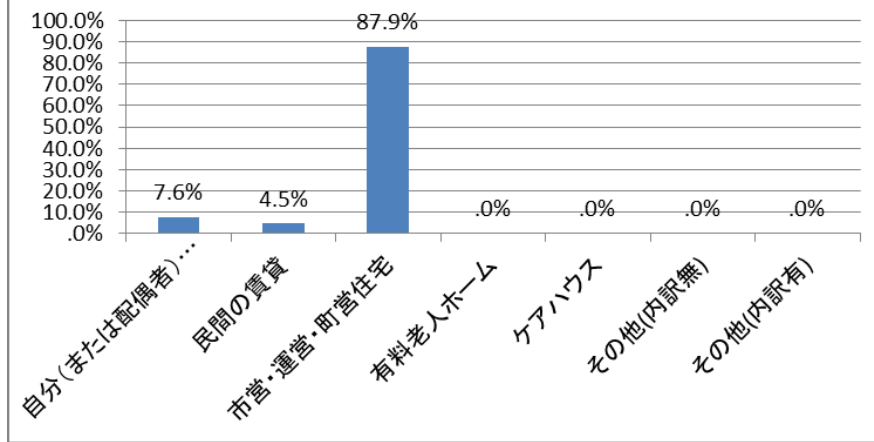


8. 回答者の住居の所有関係

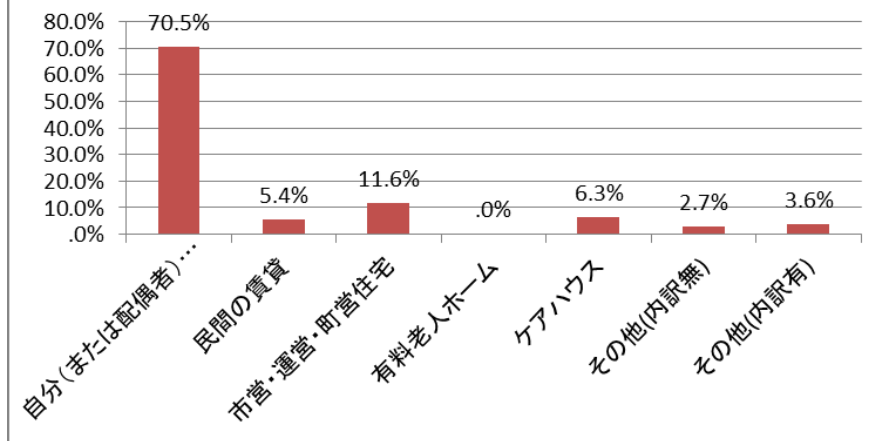
「自分（または配偶者）の所有」、「市営・道営・町営住宅」、「民間の賃貸」の順番が多い。この設問では、上位3項目で全体の9割以上を占めている。地域別に見た場合、多くは「自分（または配偶者）の所有」が一番多いが、「民間の賃貸」や「市営・道営・町営住宅」が多い地域もみられる。これは土地利用に関する制約も考えられ、札幌市のように持ち家比率の比較的低い都市地域と町村を比較すると当然の結果といえる。この点が、近隣関係やその関わりでのコミュニケーションルートにともなう情報の流れにも影響を与えるために福祉サービスに関する認知度にもつながっていくといえる。

	自分（または配偶者）の所有	民間の賃貸	市営・運営・町営住宅	有料老人ホーム	ケアハウス	その他（内訳無）	その他（内訳有）	合計
旧阿寒町	5 7.6%	3 4.5%	58 87.9%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	66 100.0%
七飯町	79 70.5%	6 5.4%	13 11.6%	0 .0%	7 6.3%	3 2.7%	4 3.6%	112 100.0%
浜頓別町	85 76.6%	7 6.3%	15 13.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 3.6%	111 100.0%
本別町	87 88.8%	4 4.1%	4 4.1%	1 1.0%	0 .0%	1 1.0%	1 1.0%	98 100.0%
札幌市	124 62.0%	59 29.5%	9 4.5%	1 .5%	0 .0%	1 .5%	6 3.0%	200 100.0%
合計	380 64.7%	79 13.5%	99 16.9%	2 .3%	7 1.2%	5 .9%	15 2.6%	587 100.0%

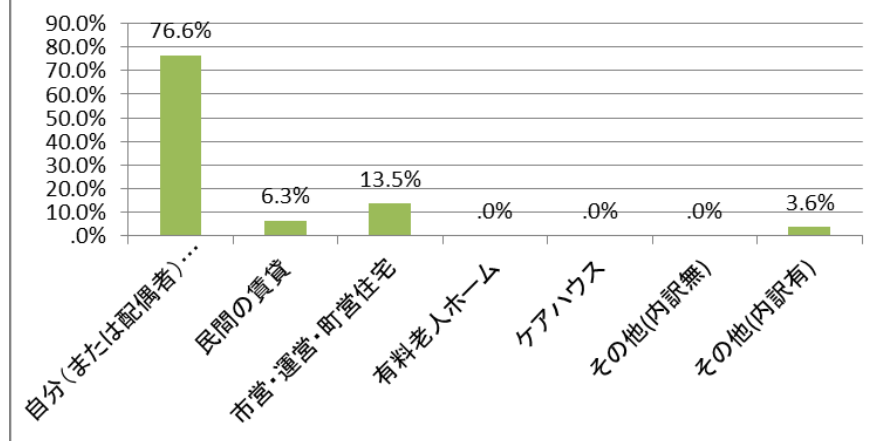
住まいの所有関係 旧阿寒町



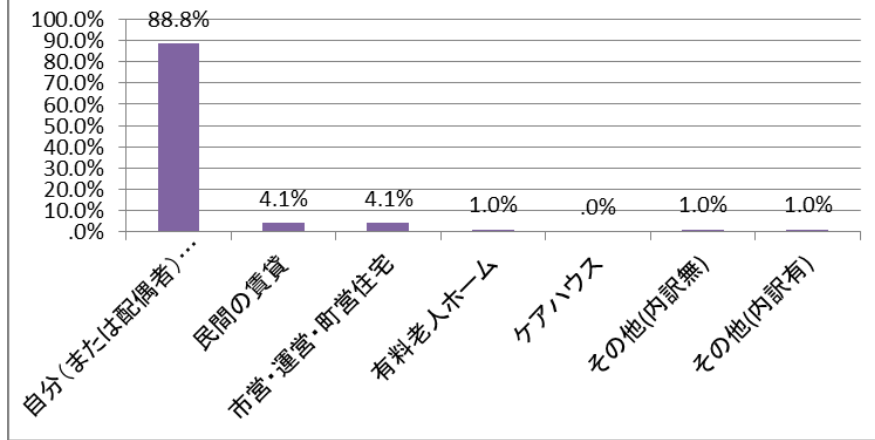
住まいの所有関係 七飯町



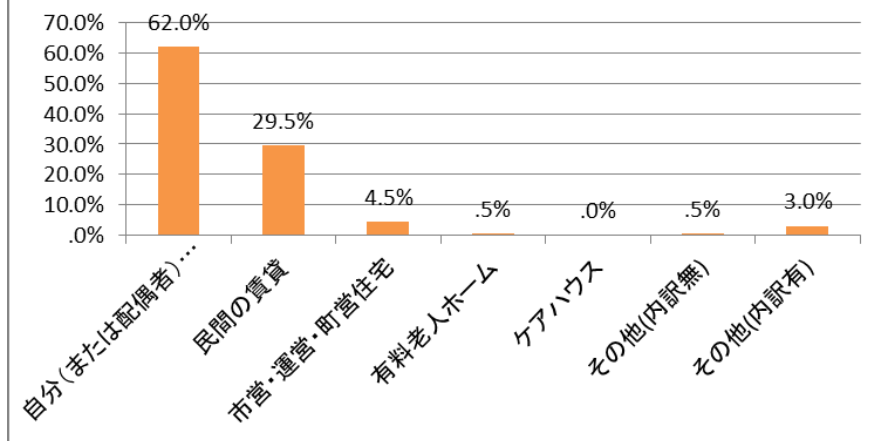
住まいの所有関係 浜頓別町



住まいの所有関係 本別町



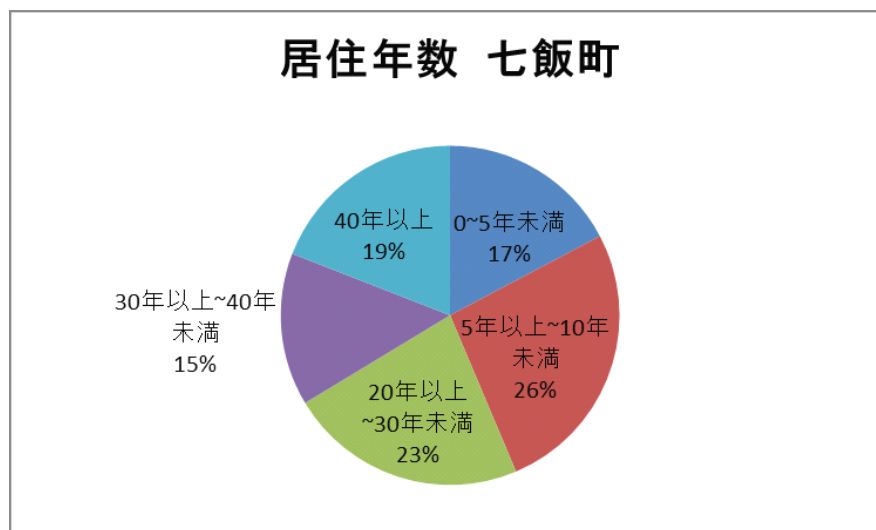
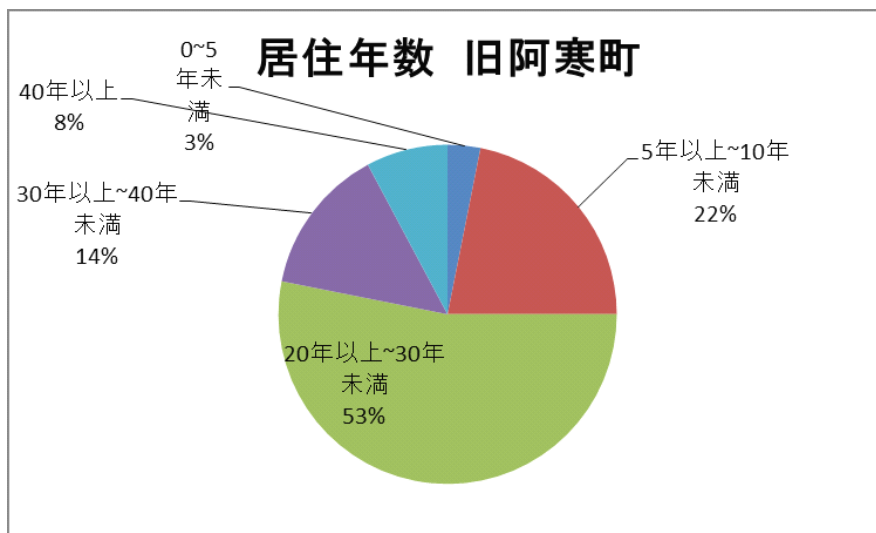
住まいの所有関係 札幌市



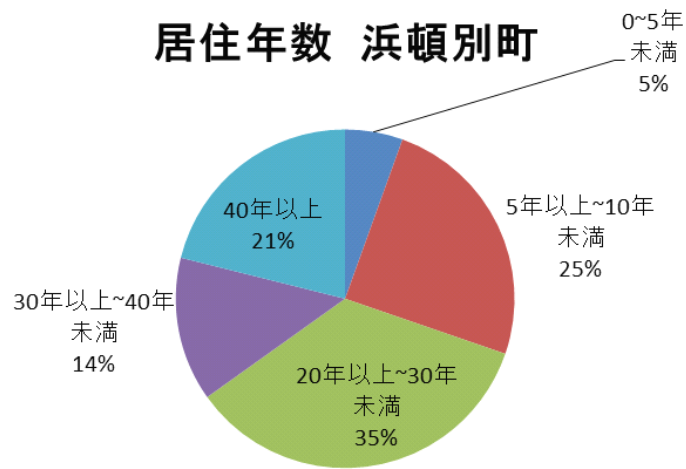
9. 回答者の居住年数

全体的には20年以上30年未満を中心に、「20年以上30年未満」、「40年以上」、「5年以上10年未満」という結果であり、函館市の近郊自治体である七飯町と札幌市を除くと回答者の年齢構成を反映して長期居住者が多い。

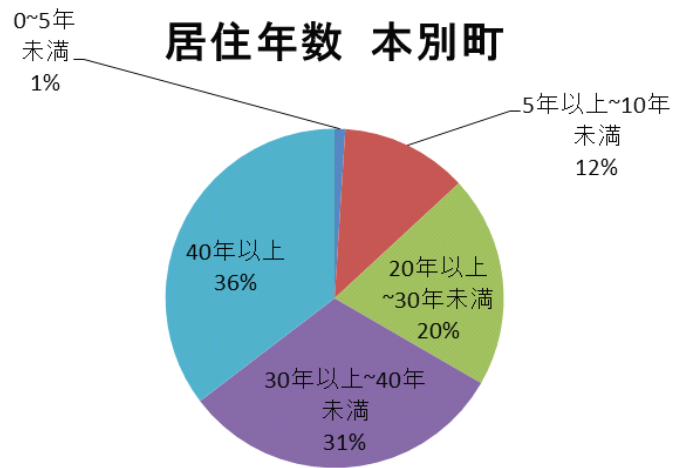
	5年未満	5年以上 10年未満	20年以上 30年未満	30年以上 40年未満	40年以上	合計
旧阿寒町	2 3.1%	14 21.9%	34 53.1%	9 14.1%	5 7.8%	64 100.0%
七飯町	19 17.3%	29 26.4%	25 22.7%	16 14.5%	21 19.1%	110 100.0%
浜頓別町	6 5.5%	27 24.8%	38 34.9%	15 13.8%	23 21.1%	109 100.0%
本別町	1 1.0%	12 12.1%	20 20.2%	31 31.3%	35 35.4%	99 100.0%
札幌市	28 13.5%	36 17.3%	67 32.2%	33 15.9%	44 21.2%	208 100.0%
合計	56 9.5%	118 20.0%	184 31.2%	104 17.6%	128 21.7%	590 100.0%



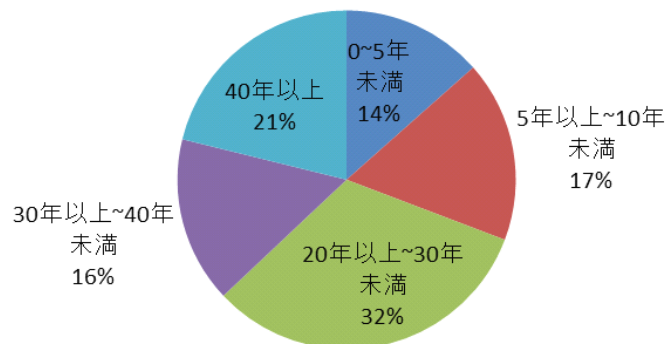
居住年数 浜頓別町



居住年数 本別町



居住年数 札幌市



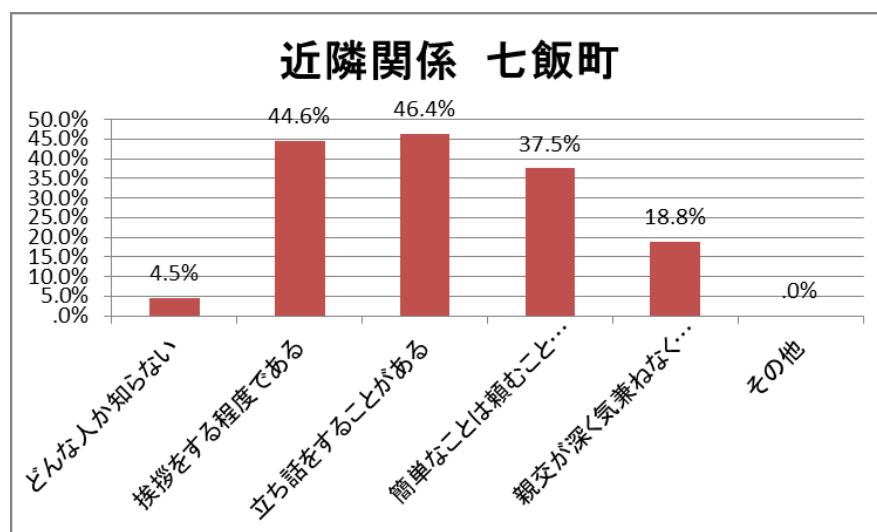
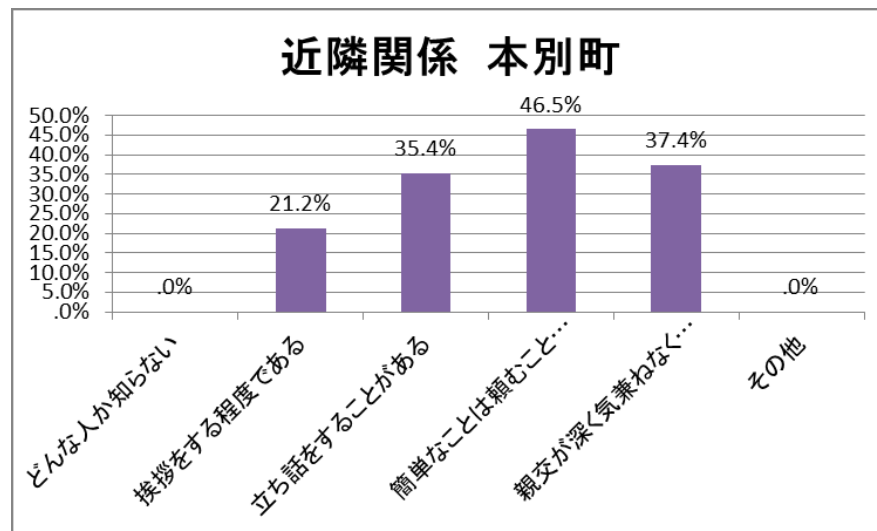
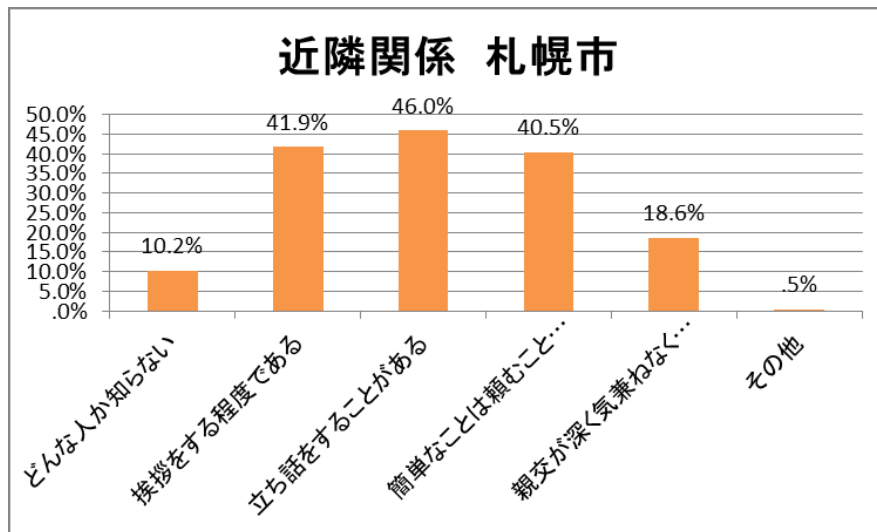
10. 近隣住民との関係

全体として「立ち話をすることがある」を中心に回答が分布している。「どんな人かわからない」は項目の中で極端に少ない。この近隣問題は情報源やネットワークの問題と連動するため、後述するなかで詳細に検討する。

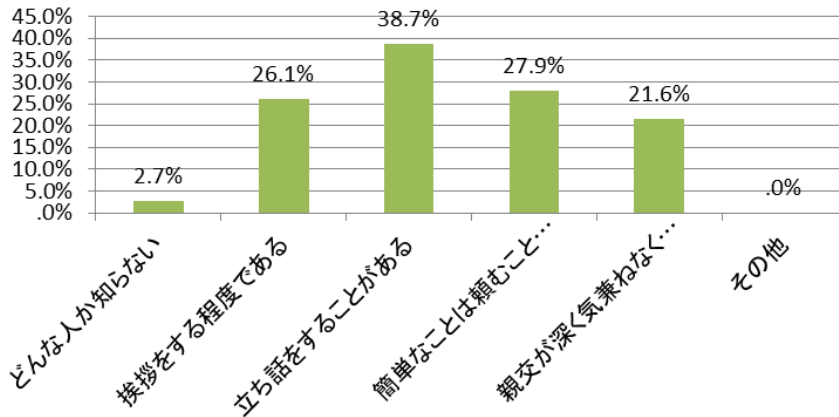
地域別にみた近隣関係

	どんな人かわからない	挨拶をする程度である	立ち話をすることがある	簡単なことは頼むことができる	親交が深く気兼ねなく頼みことができる	その他	合計
札幌市	22 10.2%	90 41.9%	99 46.0%	87 40.5%	40 18.6%	1 .5%	215
本別町	0 .0%	21 21.2%	35 35.4%	46 46.5%	37 37.4%	0 .0%	99
七飯町	5 4.5%	50 44.6%	52 46.4%	42 37.5%	21 18.8%	0 .0%	112
浜頓別町	3 2.7%	29 26.1%	43 38.7%	31 27.9%	24 21.6%	0 .0%	111
旧阿寒町	2 3.1%	21 32.8%	23 35.9%	13 20.3%	14 21.9%	0 .0%	64
合計	32 5.3%	211 35.1%	252 41.9%	219 36.4%	136 22.6%	1 .2%	601 100.0%

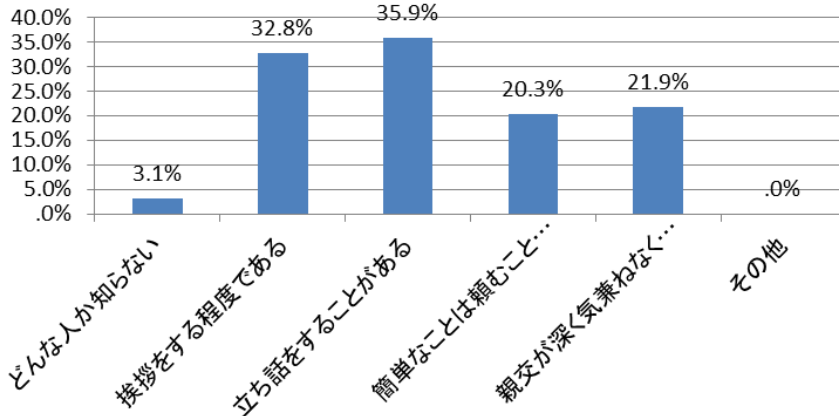
(注) 複数回答のため項目ごとの回答数が総計を超えるが右の合計欄は回答者となっており、回答者に占める回答数として横のパーセントを計算している。



近隣関係 浜頓別町



近隣関係 旧阿寒町

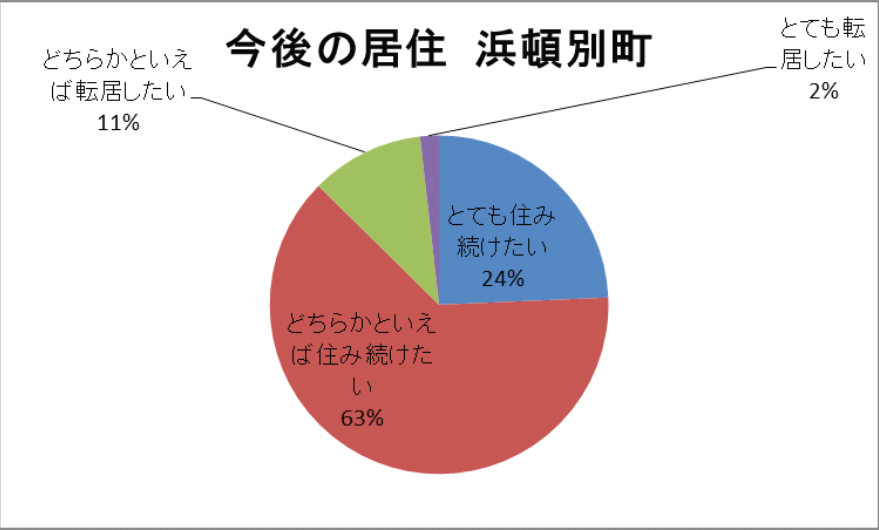
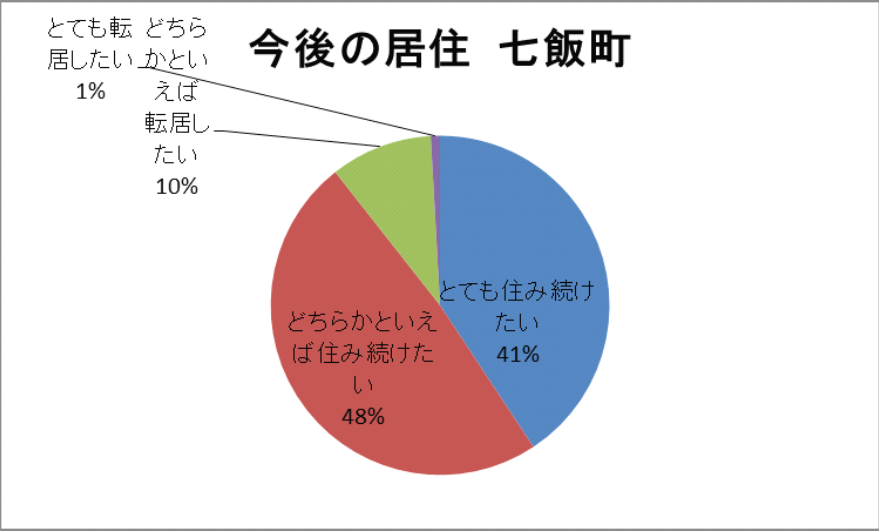
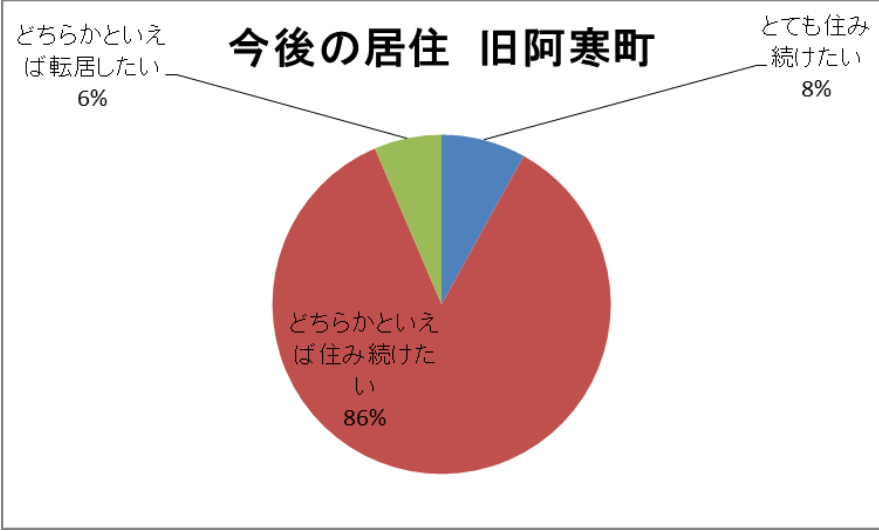


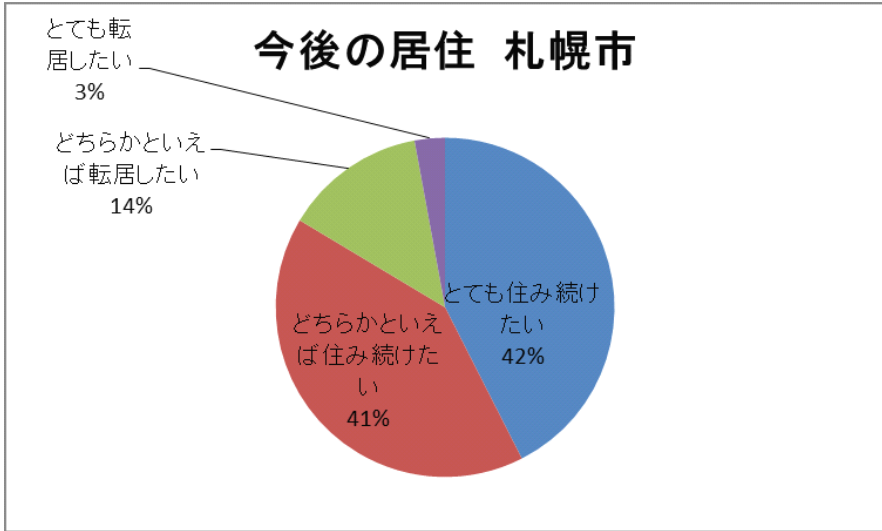
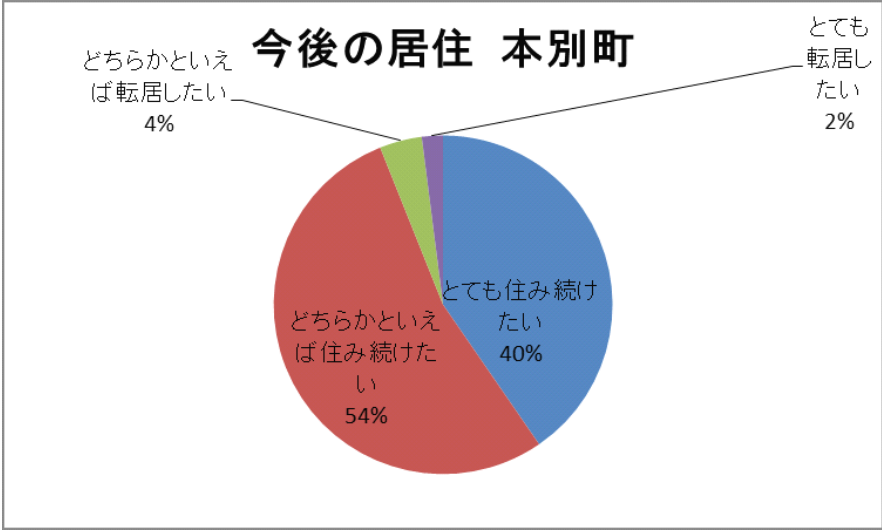
11. 今後の定住志向について

「とても住み続けたい」・「どちらかという住み続けたい」の2項目で全体の約9割を占めている。一番多い項目は「どちらかという住み続けたい」である。地域差もほとんどなく、どの地域でも概ね「とても住み続けたい」・「どちらかという住み続けたい」の2項目で9割を占めている。

地域別の定住志向

	とても住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば転居したい	とても転居したい	合計
旧阿寒町	5 8.1%	53 85.5%	4 6.5%	0 .0%	62 100.0%
七飯町	46 40.7%	55 48.7%	11 9.7%	1 .9%	113 100.0%
浜頓別町	27 24.3%	70 63.1%	12 10.8%	2 1.8%	111 100.0%
本別町	40 40.4%	53 53.5%	4 4.0%	2 2.0%	99 100.0%
札幌市	88 42.5%	85 41.1%	28 13.5%	6 2.9%	207 100.0%
合計	206 34.8%	316 53.4%	59 10.0%	11 1.9%	592 100.0%





12. 回答者の生活で困っていること

全体として、「困っていない」が多い回答となっている。もっとも困っていることが大きければ、すでに生活不利地域になっているわけだから、困っていない人が大多数でなければ、それだけで問題があるといえる。除雪だけは「困っている」の項目が若干多かった。

地域別にみる買い物の困りごと

		買い物など				合 計	
		困っている	どちらとも いえない	困ってない			
-地域	札幌市	度数	13	22	168	203	
		地域の%	6.4%	10.8%	82.8%	100.0%	
	本別町	度数	7	15	71	93	
		地域の%	7.5%	16.1%	76.3%	100.0%	
	七飯町	度数	14	15	78	107	
		地域の%	13.1%	14.0%	72.9%	100.0%	
	浜頓別町	度数	1	15	94	110	
		地域の%	.9%	13.6%	85.5%	100.0%	
	旧阿寒町	度数	3	19	42	64	
		地域の%	4.7%	29.7%	65.6%	100.0%	
	合計		度数	38	86	453	577
			地域の%	6.6%	14.9%	78.5%	100.0%

七飯町の住民は、買い物の不便さを感じている割合が他に比較して高い傾向にあるが、これは郊外型のイオンショッピングセンターが、函館亀田地区などに進出しており、それ以外でも国道沿いのエリアに郊外型の店舗が進出していることから、旧市街地付近に生活している人々や高齢者で足のない(車で買い物に行けない)人々は、買い物の不便さを意識せざるをえない環境にあることが、回答結果につながっているといえる。

地域別にみる病院の受診・通院の困りごと

		受診・通院			合計		
		困っている	どちらとも いえない	困ってない			
地域	札幌市	度数	17	23	162	202	
		地域の%	8.4%	11.4%	80.2%	100.0%	
	本別町	度数	11	15	70	96	
		地域の%	11.5%	15.6%	72.9%	100.0%	
	七飯町	度数	11	16	81	108	
		地域の%	10.2%	14.8%	75.0%	100.0%	
	浜頓別町	度数	9	18	83	110	
		地域の%	8.2%	16.4%	75.5%	100.0%	
	旧阿寒町	度数	20	9	35	64	
		地域の%	31.3%	14.1%	54.7%	100.0%	
	合計		度数	68	81	431	580
			地域の%	11.7%	14.0%	74.3%	100.0%

病院の受診/通院問題は高齢者にとって大きな生活課題となる。

旧阿寒町は主力の医療機関が釧路市に多く配置されており、地元の医療機関が少ないことが回答に反映しているといえる。この点は、合併したことでむしろ医療機関のサービス利用は釧路市の市部で対応するという流れができてしまったことが考えられる。

地域にみる調理・洗濯などの家事

			調理・洗濯			合計	
			困っている	どちらとも いえない	困ってない		
地域	札幌市	度数	14	9	179	202	
		地域の%	6.9%	4.5%	88.6%	100.0%	
	本別町	度数	7	9	76	92	
		地域の%	7.6%	9.8%	82.6%	100.0%	
	七飯町	度数	14	10	80	104	
		地域の%	13.5%	9.6%	76.9%	100.0%	
	浜頓別町	度数	2	9	99	110	
		地域の%	1.8%	8.2%	90.0%	100.0%	
	旧阿寒町	度数	2	14	47	63	
		地域の%	3.2%	22.2%	74.6%	100.0%	
	合計		度数	39	51	481	571
			地域の%	6.8%	8.9%	84.2%	100.0%

家事問題は、ホームヘルプサービスの基本であるが、七飯町の住民はこのサービスが利用しにくいのか、他の地域に比較して困りごとに上げている割合が高い点に注目したい。

地域にみる除雪・排泄の困りごと

		除雪・排泄			合計		
		困っている	どちらとも いえない	困ってない			
地域	札幌市	度数	30	28	147	205	
		地域の%	14.6%	13.7%	71.7%	100.0%	
	本別町	度数	22	11	62	95	
		地域の%	23.2%	11.6%	65.3%	100.0%	
	七飯町	度数	28	14	64	106	
		地域の%	26.4%	13.2%	60.4%	100.0%	
	浜頓別町	度数	14	11	85	110	
		地域の%	12.7%	10.0%	77.3%	100.0%	
	旧阿寒町	度数	21	4	38	63	
		地域の%	33.3%	6.3%	60.3%	100.0%	
	合計		度数	115	68	396	579
			地域の%	19.9%	11.7%	68.4%	100.0%

除雪は、全道的に地域住民の生活問題となっており、行政への要望がもっとも多いことで知られている。雪の多い旧阿寒町は除雪体制が遅れ気味なのか、もっとも困っているといえる。

なぜか道南の雪の少ない七飯町が除雪に困りごとを上げているのは、最初に見たように外出に支障のことがあるためと想定できる。意外なことに札幌が困りごととしては比較的少ないが、これは札幌市内でも降雪量がやや少ない地域が中心となっているためと考えられる。

地域にみるゴミ出しの困りごと

		ゴミ出し			合計		
		困っている	どちらとも いえない	困ってない			
地域	札幌市	度数	12	14	176	202	
		地域の%	5.9%	6.9%	87.1%	100.0%	
	本別町	度数	6	12	74	92	
		地域の%	6.5%	13.0%	80.4%	100.0%	
	七飯町	度数	13	10	82	105	
		地域の%	12.4%	9.5%	78.1%	100.0%	
	浜頓別町	度数	3	7	99	109	
		地域の%	2.8%	6.4%	90.8%	100.0%	
	旧阿寒町	度数	3	8	52	63	
		地域の%	4.8%	12.7%	82.5%	100.0%	
	合計		度数	37	51	483	571
			地域の%	6.5%	8.9%	84.6%	100.0%

いまや、ゴミ出しは全国区の課題であり、認知症の支援策においても分別のサポートや、歩行困難者にとってのゴミ出し支援は焦眉の行政課題となっている。

七飯町の住民がゴミ出しを他の地域住民よりも困りごととしているのは、以下のパートで解説するように身体状況において支援の必要な人の割合が他の地域よりも高いことが影響していると考えられる。

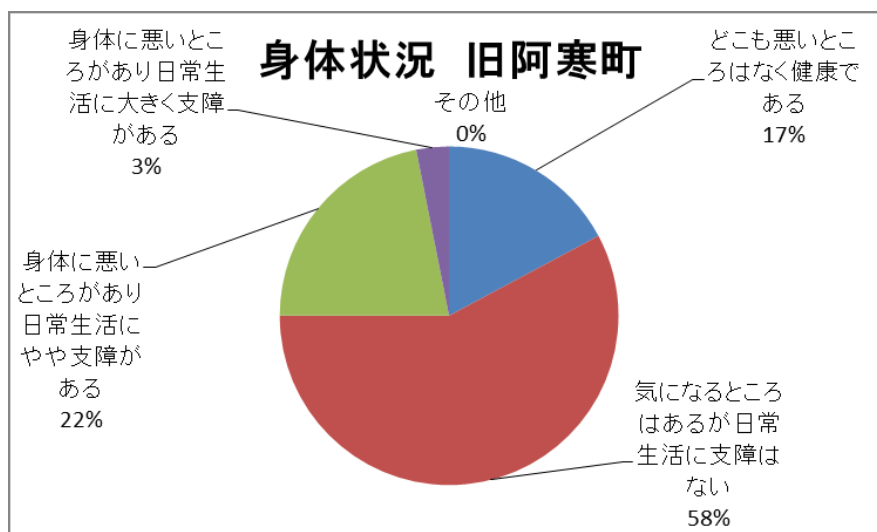
13. 回答者の身体状況

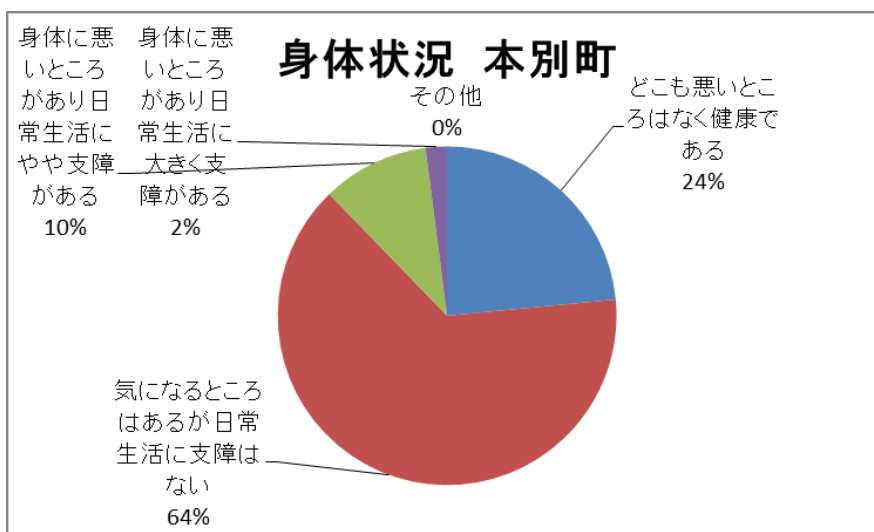
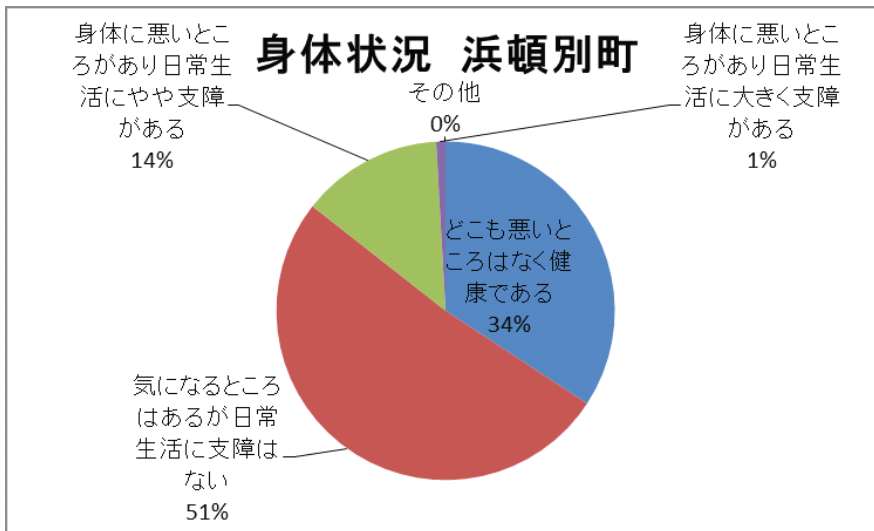
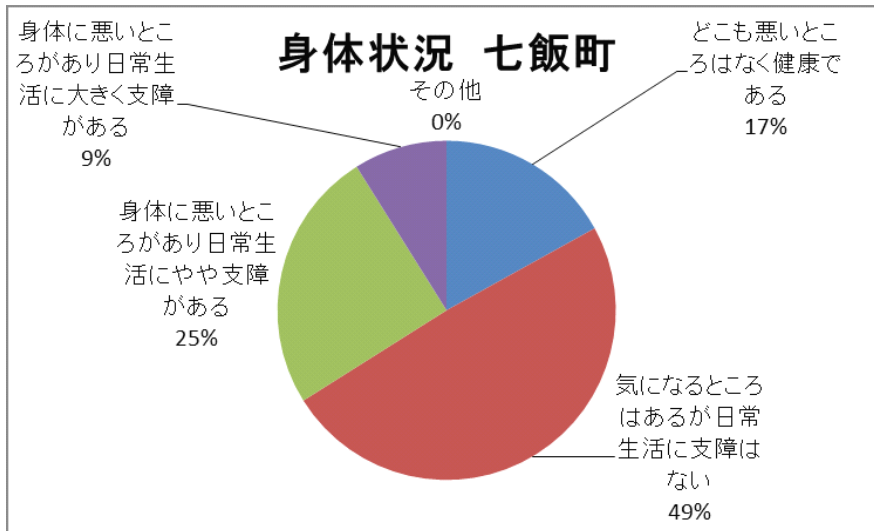
「気になるところはあるが日常生活に支障はない」の項目が、全体として6割を占めている。「どこも悪いところがない」という回答をあわせると8割は問題がないということであり、一般的な健康状態の分布と対応している。

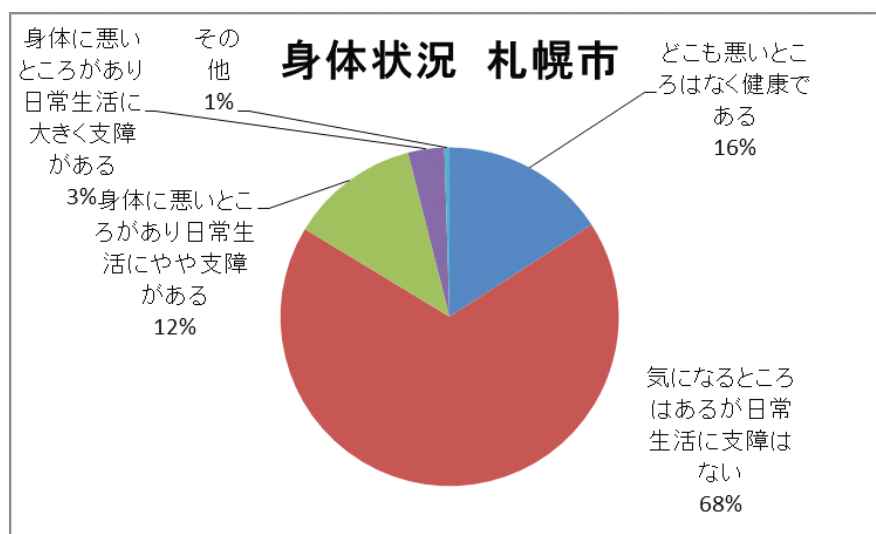
地域別にみても大きな差はみられないが、七飯町と旧阿寒町が身体状況において日常生活に支障を感じている割合が高い。とくに七飯町の住民には介護サービスの必要な（利用している）割合も高いことが背景にある。

地域別に見る健康状態

	健康である どこも悪いところはなく	気になるところはあるが 日常生活に支障はない	身体に悪いところがあり 日常生活にやや支障がある	身体に悪いところがあり 日常生活に大きく支障がある	その他	合計
旧阿寒町	11 17.2%	37 57.8%	14 21.9%	2 3.1%	0 .0%	64 100.0%
七飯町	19 17.0%	55 49.1%	28 25.0%	10 8.9%	0 .0%	112 100.0%
浜頓別町	38 34.2%	57 51.4%	15 13.5%	1 .9%	0 .0%	111 100.0%
本別町	23 23.5%	63 64.3%	10 10.2%	2 2.0%	0 .0%	98 100.0%
札幌市	32 15.8%	137 67.8%	25 12.4%	7 3.5%	1 .5%	202 100.0%
合計	123 21.0%	349 59.5%	92 15.7%	22 3.7%	1 .2%	587 100.0%







14. 回答者の要介護認定について

そこで、つぎに要介護認定の経験について質問している。約2割の回答者が認定を受けている。内訳が「要支援2」が中心となっている。なお、今回の調査では要介護4・要介護5の回答者はみられなかった。「認定を受けていない」の回答が全体の8割を占めている。地域別に見たところ、「七飯町」では「認定を受けている」の回答が多く、その内訳も「要介護1」などの比較的重い認定を受けている回答が多かった。本別町は、他の地域に比較して健康状態のいい住民の割合が高いといえる。

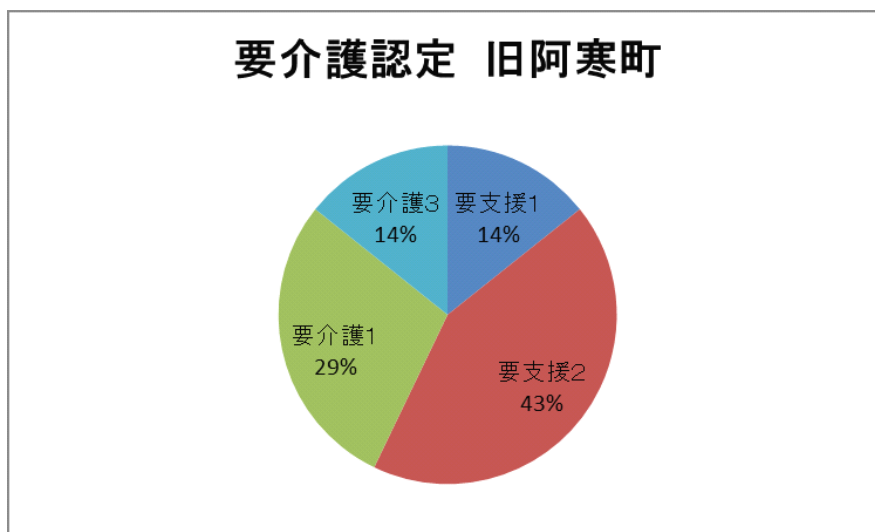
地域別にみる要介護認定について

	認定を受けている	認定は受けていない	認定は受けたが非該当だった	合計
旧阿寒町	7 10.8%	57 87.7%	1 1.5%	65 100.0%
七飯町	37 34.3%	71 65.7%	0 .0%	108 100.0%
浜頓別町	19 17.4%	89 81.7%	1 .9%	109 100.0%
本別町	5 5.2%	87 90.6%	4 4.2%	96 100.0%
札幌市	34 17.1%	164 82.4%	1 .5%	199 100.0%
合計	102 17.7%	468 81.1%	7 1.2%	577 100.0%

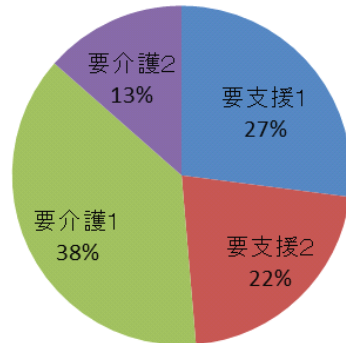
地域別にみた認定を受けた回答者の要介護度

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	合計
旧阿寒町	1 14.3%	3 42.9%	2 28.6%	0 .0%	1 14.3%	7 100.0%
七飯町	10 27.0%	8 21.6%	14 37.8%	5 13.5%	0 .0%	37 100.0%
浜頓別町	4 22.2%	3 16.7%	3 16.7%	5 27.8%	3 16.7%	18 100.0%
本別町	0 .0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 .0%	5 100.0%
札幌市	10 29.4%	19 55.9%	1 2.9%	3 8.8%	1 2.9%	34 100.0%
合計	25 24.8%	35 34.7%	21 20.8%	15 14.9%	5 5.0%	101 100.0%

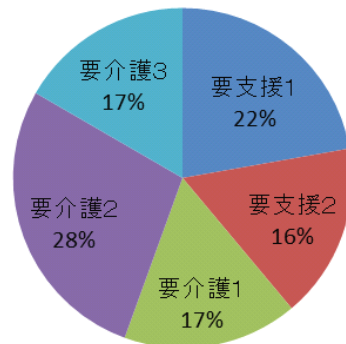
地域別に要介護度について傾向をみると、浜頓別町では比較的重度の傾向が高く、七飯町が続いている。全体の回答者は 600 程度なので、約 15% 程度の回答者が要介護の認定を受けていることになる。



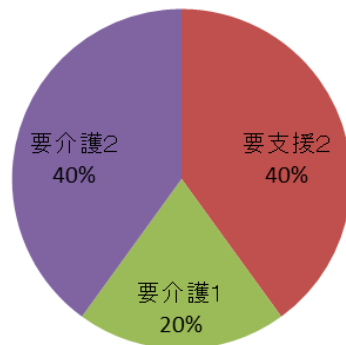
要介護認定 七飯町

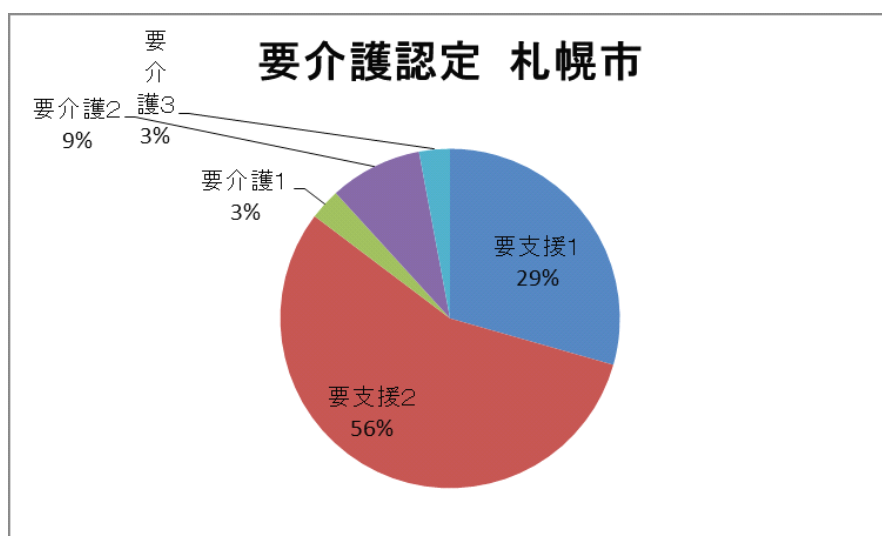


要介護認定 浜頓別町



要介護認定 本別町





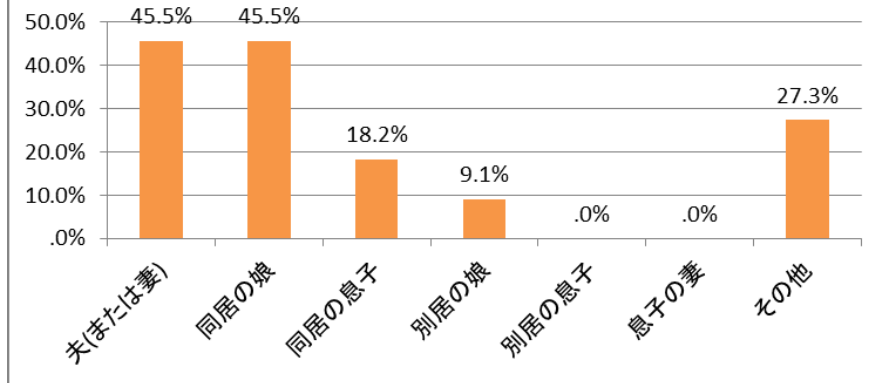
15. 介護を受けているかどうかについて

重要なことは、必要な介護を受けているかどうかということになる。「介護を受けている」の回答が約1割、「介護を受けていない」の回答が8割を占める。介護を受けているという回答が多かったのは「七飯町」であった。介護者は配偶者が多く、次いで息子・娘（同率）、ヘルパーと続く。

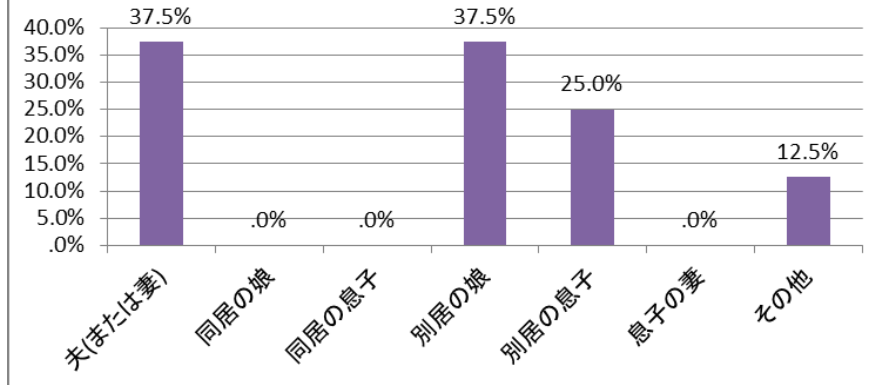
	夫 (または妻)	同居 の娘	同居 の息子	別居 の娘	別居 の息子	息子 の妻	そ の 他	合 計
札幌市	5 45.5%	5 45.5%	2 18.2%	1 9.1%	0 .0%	0 .0%	3 27.3%	11
本別町	3 37.5%	0 .0%	0 .0%	3 37.5%	2 25.0%	0 .0%	1 12.5%	8
七飯町	3 8.8%	5 14.7%	6 17.6%	4 11.8%	0 .0%	3 8.8%	20 58.8%	34
浜頓別町	3 16.7%	1 5.6%	1 5.6%	3 16.7%	4 22.2%	4 22.2%	11 61.1%	18
旧阿寒町	1 14.3%	0 .0%	1 14.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	5 71.4%	7
合計	15 19.2%	11 14.1%	10 12.8%	11 14.1%	6 7.7%	7 9.0%	40 51.3%	78 100.0%

(注) 右側の合計欄が回答者の実数であり、項目の選択は複数回答のため回答数とパーセンテージは100%を超える可能性がある。

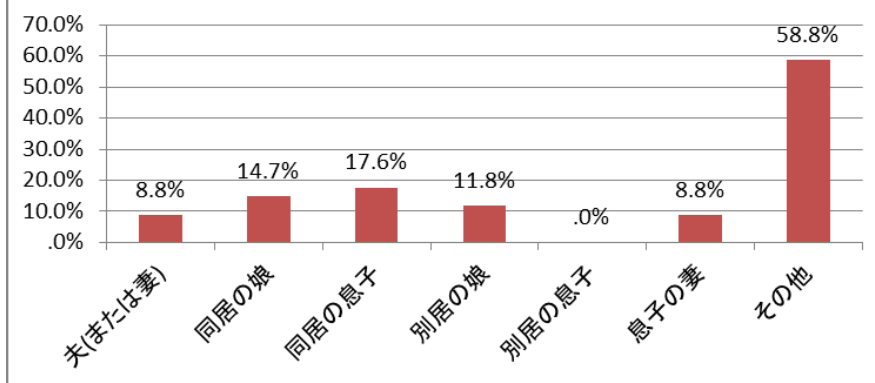
介護を受けているかについて 札幌市



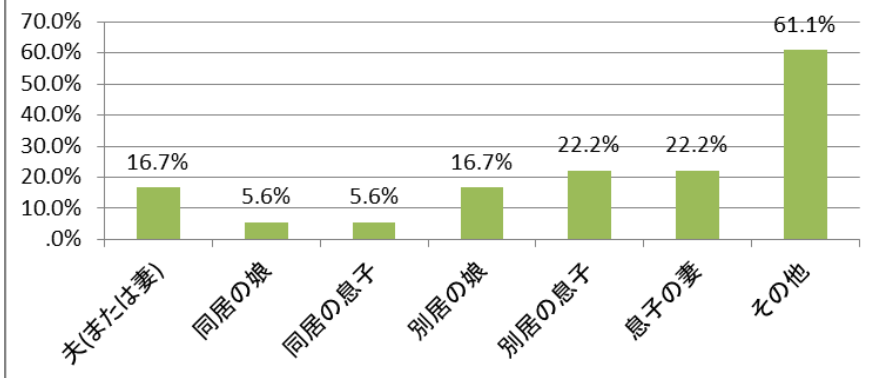
介護を受けているかについて 本別町



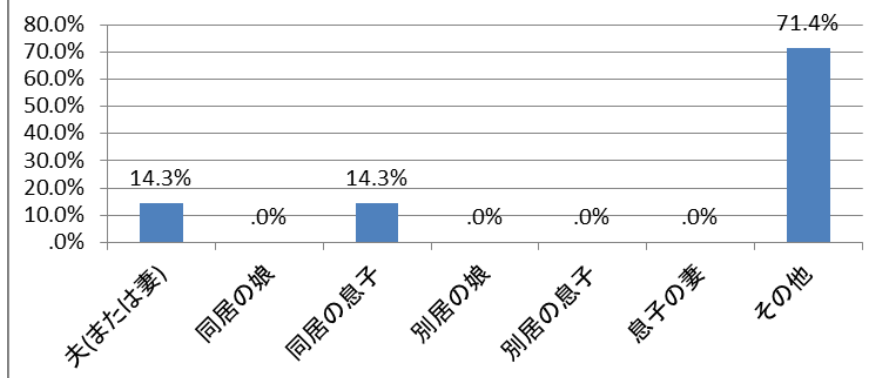
介護を受けているかについて 七飯町



介護を受けているかについて 浜頓別町



介護を受けているかについて 旧阿寒町



16. (回答者が) 介護を行っているかどうかについて

「介護をしていない」の回答が約 8 割、「介護をしている」は約 1 割であった。

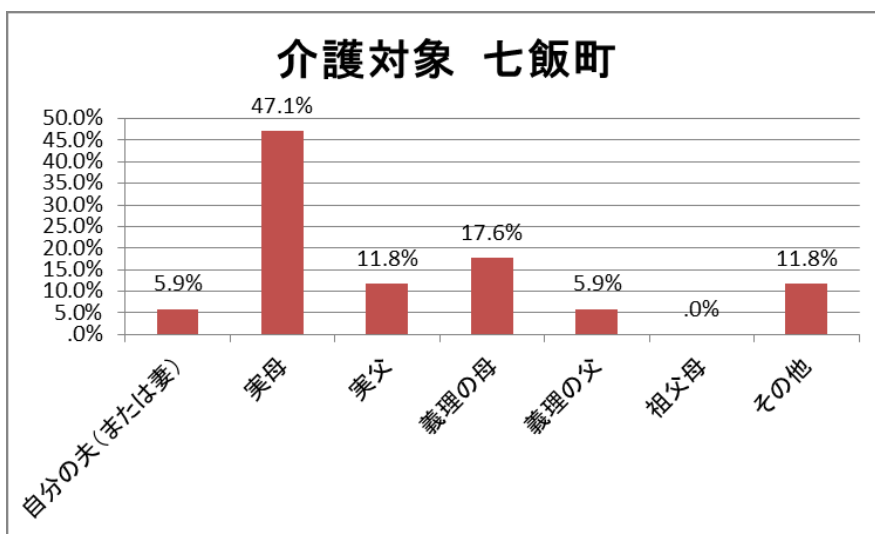
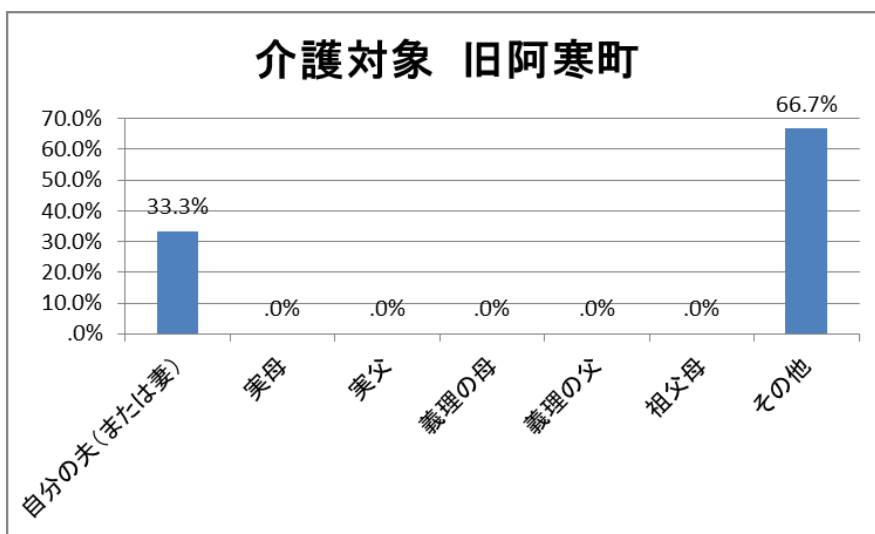
	介護している	どちらともいえない	介護していない	合計
旧阿寒町	3	2	61	66
	4.5%	3.0%	92.4%	100.0%
七飯町	18	2	91	111
	16.2%	1.8%	82.0%	100.0%
浜頓別町	17	3	90	110
	15.5%	2.7%	81.8%	100.0%
本別町	12	1	86	99
	12.1%	1.0%	86.9%	100.0%
札幌市	18	8	175	201
	9.0%	4.0%	87.1%	100.0%
合計	68	16	503	587
	11.6%	2.7%	85.7%	100.0%

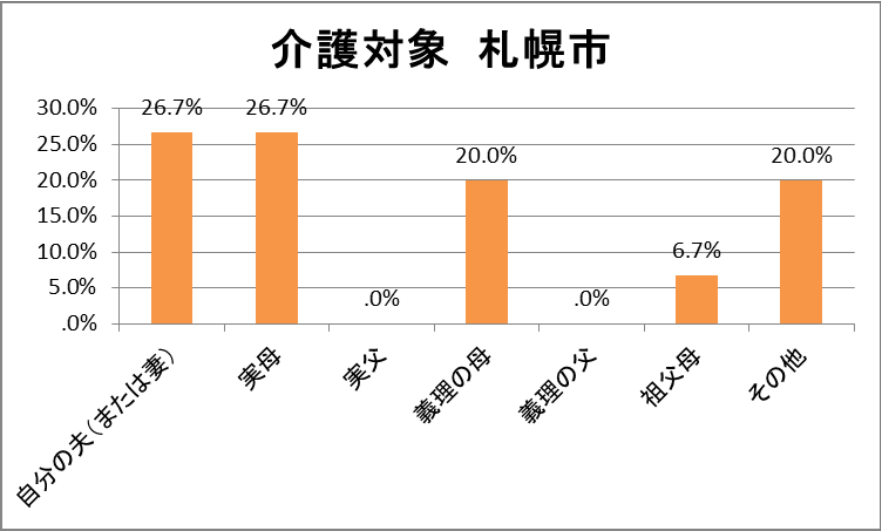
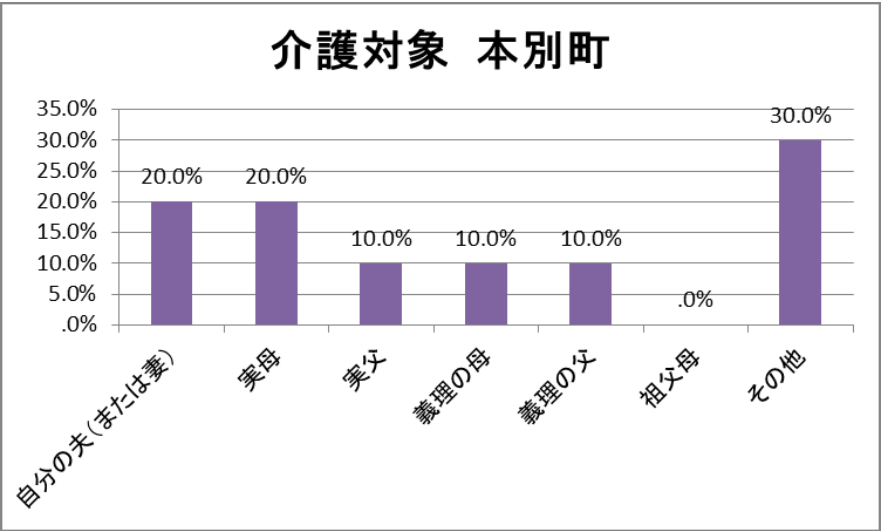
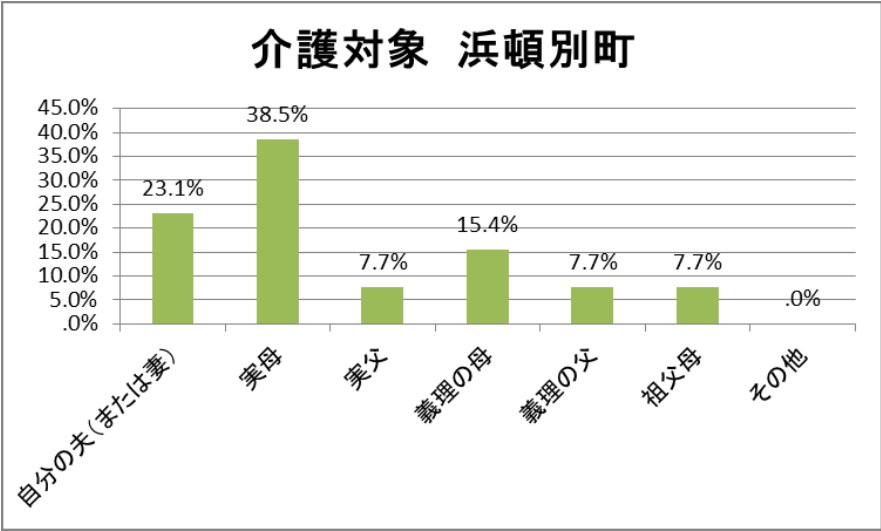
地域別にみた介護の相手

	(また 自分の または 妻)	実 母	実 父	義 理の 母	義 理の 父	祖 父 母	そ の 他	合 計
旧阿寒町	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 66.7%	3 100.0%
七飯町	1 5.9%	8 47.1%	2 11.8%	3 17.6%	1 5.9%	0 .0%	2 11.8%	17 100.0%
浜頓別町	3 23.1%	5 38.5%	1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%	1 7.7%	0 .0%	13 100.0%
本別町	2 20.0%	2 20.0%	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 .0%	3 30.0%	10 100.0%
札幌市	4 26.7%	4 26.7%	0 .0%	3 20.0%	0 .0%	1 6.7%	3 20.0%	15 100.0%
合計	11 19.0%	19 32.8%	4 6.9%	9 15.5%	3 5.2%	2 3.4%	10 17.2%	58 100.0%

介護の提供相手は「実の母」が一番多く、次いで「配偶者」となっている。

また、最近の傾向として指摘されているのは、単身および夫婦のみ世帯の増加であるが、夫婦のみ世帯の場合は、子どもに迷惑はかけられない、かけたくないという意識も強く、配偶者を介護しているという回答が増加しているが、今回の調査においても同様の傾向がうかがわれる。





17. 福祉サービスの認知度について

不安なき介護問題の解決方法は、必要なときに介護サービスが利用できることであるが、それには、知られていること、内容を理解していること、手続きを理解していることが重要であり、多くの場合、あるとき、突然、介護問題をかかえることとなり、大半の地域住民は相談先や利用手続きに不安と戸惑いを体験する。まずは知ることからはじまらなくてはならない。

- ① 訪問介護：「名前だけ知っている」・「内容を知っている」が多く、二つの項目で全体の6割を占めている。
- ② 訪問看護：「名前だけ知っている」・「内容を知っている」が多く、二つの項目で全体の5割を占めている。
- ③ 訪問リハビリ：「知らない」・「名前だけ知っている」・「内容を知っている」が多く、それぞれ25%程度であった。
- ④ 訪問入浴介護：「知らない」・「名前だけ知っている」・「内容を知っている」が多く、「名前だけ知っている」・「内容を知っている」の項目で全体の6割を占めている。
- ⑤ 通所介護：「名前だけ知っている」・「内容を知っている」が多い。
- ⑥ 通所リハビリ：「知らない」・「名前だけ知っている」・「内容を知っている」が多く、「知らない」から「内容を知っている」にかけて回答が少なくなっている。三項目で8割を占めている。
- ⑦ 介護老人保健施設：「知らない」・「名前だけ知っている」・「内容を知っている」が多い。
- ⑧ 特別養護老人ホーム：「名前だけ知っている」・「内容を知っている」の回答が多く、二つの項目で7割を占めている。
- ⑨ グループホーム：「名前だけ知っている」・「内容を知っている」の回答が多く、二つの項目で7割を占めている。
- ⑩ 小規模多機能型居宅介護：「知らない」の回答が最も多く、「知らない」・「名前だけ知っている」・「内容を知っている」の三項目で全体の7割を占めている。
- ⑪ 短期入所生活介護：「知らない」・「名前だけ知っている」・「内容を知っている」が同程度で、それぞれ25%程度であった。
- ⑫ 短期入所療養介護：「知らない」が最も多く、次いで「名前だけ知っている」・「内容を知っている」の回答がほぼ同数、三項目で全体の7割を占めている。
- ⑬ 特定施設入所者生活介護：「知らない」が多く、「知らない」の回答のみで4割を占めている。
- ⑭ 福祉用具貸与または販売：「知らない」・「名前だけ知っている」・「内容を知

っている」の回答がほぼ同数で、それぞれ 25%程度であった。

- ⑮ 居宅介護支援：「知らない」から「内容を知っている」に向けて回答数は少なくなっている。「知らない」が 30%、「名前だけ知っている」が 25%、「内容を知っている」が 20%となった。

Q17-1 地区別にみる訪問介護の認知度と利用希望

	知らない	名前だけ 知っている	内容を 知っている	利用した ことがある	今後 必要な時には 利用希望	合計
旧阿寒町	3 4.5%	22 32.8%	33 49.3%	3 4.5%	1 1.5%	67 100.0
七飯町	12 10.6%	33 29.2%	42 37.2%	10 8.8%	4 3.5%	113 100.0
浜頓別町	8 7.2%	50 45.0%	30 27.0%	12 10.8%	6 5.4%	111 100.0
本別町	1 1.0%	24 23.5%	37 36.3%	2 2.0%	19 18.6%	102 100.0
札幌市	42 19.1%	78 35.5%	49 22.3%	1 .5%	12 5.5%	220 100.0
合計	66 10.8%	207 33.8%	191 31.2%	28 4.6%	42 6.9%	613 100.0

Q17-2 地区別にみる訪問看護の認知度と利用希望

	知らない	名前だけ 知っている	内容を 知っている	利用した ことがある	今後 必要な時には 利用希望	合計
旧阿寒町	16 23.9%	17 25.4%	25 37.3%	1 1.5%	1 1.5%	67 100.0%
七飯町	20 17.7%	38 33.6%	40 35.4%	0 .0%	5 4.4%	113 100.0%
浜頓別町	20 18.0%	50 45.0%	21 18.9%	4 3.6%	10 9.0%	111 100.0%
本別町	3 2.9%	25 24.5%	34 33.3%	1 1.0%	21 20.6%	102 100.0%
札幌市	48 21.8%	75 34.1%	46 20.9%	2 .9%	13 5.9%	220 100.0%
合計	107 17.5%	205 33.4%	166 27.1%	8 1.3%	50 8.2%	613 100.0%

Q17-3 地区別にみる訪問リハビリの認知度と利用希望

	知らない	名前だけ知っている	内容を知っている	利用したことがある	今後、必要な時には 利用したい	合計
旧阿寒町	18 26.9%	14 20.9%	25 37.3%	0 .0%	2 3.0%	67 100.0%
七飯町	36 31.9%	27 23.9%	30 26.5%	1 .9%	6 5.3%	113 100.0%
浜頓別町	29 26.1%	44 39.6%	20 18.0%	2 1.8%	9 8.1%	111 100.0%
本別町	13 12.7%	19 18.6%	35 34.3%	0 .0%	18 17.6%	102 100.0%
札幌市	57 25.9%	77 35.0%	37 16.8%	1 .5%	10 4.5%	220 100.0%
合計	153 25.0%	181 29.5%	147 24.0%	4 .7%	45 7.3%	613 100.0%

Q17-4 地区別にみる訪問入浴介護の認知度と利用希望

	知らない	名前だけ知っている	内容を知っている	利用したことがある	今後、必要な時には 利用したい	合計
旧阿寒町	17 25.4%	14 20.9%	25 37.3%	2 3.0%	2 3.0%	67 100.0%
七飯町	24 21.2%	37 32.7%	35 31.0%	2 1.8%	3 2.7%	113 100.0%
浜頓別町	31 27.9%	44 39.6%	21 18.9%	1 .9%	8 7.2%	111 100.0%
本別町	3 2.9%	18 17.6%	47 46.1%	1 1.0%	15 14.7%	102 100.0%
札幌市	52 23.6%	75 34.1%	41 18.6%	2 .9%	11 5.0%	220 100.0%
合計	127 20.7%	188 30.7%	169 27.6%	8 1.3%	39 6.4%	613 100.0%

Q17-5 地区別にみる通所介護（デイサービス）の認知度と利用希望

	知らない	名前だけ知っている	内容を知っている	利用したことがある	今後、必要な時には 利用したい	合計
旧阿寒町	3 4.5%	25 37.3%	24 35.8%	4 6.0%	5 7.5%	67 100.0%
七飯町	7 6.2%	19 16.8%	44 38.9%	24 21.2%	4 3.5%	113 100.0%
浜頓別町	10 9.0%	47 42.3%	27 24.3%	10 9.0%	9 8.1%	111 100.0%
本別町	2 2.0%	18 17.6%	38 37.3%	5 4.9%	23 22.5%	102 100.0%
札幌市	39 17.7%	69 31.4%	61 27.7%	8 3.6%	8 3.6%	220 100.0%
合計	61 10.0%	178 29.0%	194 31.6%	51 8.3%	49 8.0%	613 100.0%

Q17-6 地区別にみる通所リハビリの認知度と利用希望

	知らない	名前だけ知っている	内容を知っている	利用したことがある	今後、必要な時には 利用したい	合計
旧阿寒町	16 23.9%	13 19.4%	27 40.3%	0 .0%	4 6.0%	67 100.0%
七飯町	42 37.2%	24 21.2%	28 24.8%	4 3.5%	2 1.8%	113 100.0%
浜頓別町	29 26.1%	44 39.6%	23 20.7%	1 .9%	7 6.3%	111 100.0%
本別町	8 7.8%	22 21.6%	32 31.4%	2 2.0%	19 18.6%	102 100.0%
札幌市	74 33.6%	59 26.8%	37 16.8%	2 .9%	13 5.9%	220 100.0%
合計	169 27.6%	162 26.4%	147 24.0%	9 1.5%	45 7.3%	613 100.0%

Q17-7 地区別にみる介護老人保健施設の認知度と利用希望

	知らない	名前だけ知っている	内容を知っている	利用したことがある	今後、必要な時には 利用したい	合計
旧阿寒町	11 16.4%	16 23.9%	28 41.8%	2 3.0%	2 3.0%	67 100.0%
七飯町	37 32.7%	32 28.3%	26 23.0%	2 1.8%	4 3.5%	113 100.0%
浜頓別町	25 22.5%	47 42.3%	24 21.6%	0 .0%	8 7.2%	111 100.0%
本別町	3 2.9%	19 18.6%	38 37.3%	1 1.0%	23 22.5%	102 100.0%
札幌市	50 22.7%	82 37.3%	41 18.6%	0 .0%	12 5.5%	220 100.0%
合計	126 20.6%	196 32.0%	157 25.6%	5 .8%	49 8.0%	613 100.0%

Q17-8 地区別にみる特別養護老人ホームの認知度と利用希望

	知らない	名前だけ知っている	内容を知っている	利用したことがある	今後、必要な時には 利用したい	合計
旧阿寒町	7 10.4%	20 29.9%	32 47.8%	0 .0%	2 3.0%	67 100.0%
七飯町	20 17.7%	48 42.5%	32 28.3%	0 .0%	2 1.8%	113 100.0%
浜頓別町	7 6.3%	62 55.9%	29 26.1%	1 .9%	7 6.3%	111 100.0%
本別町	2 2.0%	15 14.7%	48 47.1%	0 .0%	20 19.6%	102 100.0%
札幌市	43 19.5%	84 38.2%	43 19.5%	0 .0%	11 5.0%	220 100.0%
合計	79 12.9%	229 37.4%	184 30.0%	1 .2%	42 6.9%	613 100.0%

Q17-9 地区別にみるグループホームの認知度と利用希望

	知らない	名前だけ知っている	内容を知っている	利用したことがある	今後、必要な時には 利用したい	合計
旧阿寒町	3 4.5%	18 26.9%	33 49.3%	0 .0%	3 4.5%	67 100.0%
七飯町	13 11.5%	48 42.5%	31 27.4%	3 2.7%	4 3.5%	113 100.0%
浜頓別町	10 9.0%	65 58.6%	25 22.5%	1 .9%	5 4.5%	111 100.0%
本別町	5 4.9%	23 22.5%	39 38.2%	1 1.0%	17 16.7%	102 100.0%
札幌市	45 20.5%	88 40.0%	42 19.1%	2 .9%	9 4.1%	220 100.0%
合計	76 12.4%	242 39.5%	170 27.7%	7 1.1%	38 6.2%	613 100.0%

Q17-10 地区別にみる小規模多機能型居宅介護の認知度と利用希望

	知らない	名前だけ知っている	内容を知っている	利用したことがある	今後、必要な時には 利用したい	合計
旧阿寒町	14 20.9%	18 26.9%	27 40.3%	1 1.5%	1 1.5%	67 100.0%
七飯町	42 37.2%	19 16.8%	19 16.8%	17 15.0%	2 1.8%	113 100.0%
浜頓別町	34 30.6%	31 27.9%	19 17.1%	12 10.8%	7 6.3%	111 100.0%
本別町	6 5.9%	20 19.6%	28 27.5%	3 2.9%	28 27.5%	102 100.0%
札幌市	90 40.9%	54 24.5%	28 12.7%	2 .9%	8 3.6%	220 100.0%
合計	186 30.3%	142 23.2%	121 19.7%	35 5.7%	46 7.5%	613 100.0%

Q17-11 地区別にみる短期入所生活介護（ショートステイ）の

認知度と利用希望

	知らない	名前だけ知っている	内容を知っている	利用したことがある	今後、必要な時には利用したい	合計
旧阿寒町	13 19.4%	20 29.9%	28 41.8%	0 .0%	1 1.5%	67 100.0%
七飯町	44 38.9%	23 20.4%	27 23.9%	2 1.8%	4 3.5%	113 100.0%
浜頓別町	25 22.5%	47 42.3%	18 16.2%	5 4.5%	10 9.0%	111 100.0%
本別町	6 5.9%	15 14.7%	38 37.3%	1 1.0%	22 21.6%	102 100.0%
札幌市	74 33.6%	58 26.4%	38 17.3%	2 .9%	8 3.6%	220 100.0%
合計	162 26.4%	163 26.6%	149 24.3%	10 1.6%	45 7.3%	613 100.0%

Q17-12 地区別にみる短期入所療養介護の認知度と利用希望

	知らない	名前だけ知っている	内容を知っている	利用したことがある	今後、必要な時には利用したい	合計
旧阿寒町	20 29.9%	14 20.9%	26 38.8%	0 .0%	0 .0%	67 100.0%
七飯町	51 45.1%	27 23.9%	21 18.6%	0 .0%	2 1.8%	113 100.0%
浜頓別町	58 52.3%	27 24.3%	14 12.6%	0 .0%	7 6.3%	111 100.0%
本別町	15 14.7%	18 17.6%	32 31.4%	1 1.0%	17 16.7%	102 100.0%
札幌市	94 42.7%	48 21.8%	24 10.9%	2 .9%	6 2.7%	220 100.0%
合計	238 38.8%	134 21.9%	117 19.1%	3 .5%	32 5.2%	613 100.0%

Q17-13 地区別にみる特定施設入所者生活介護の認知度と利用希望

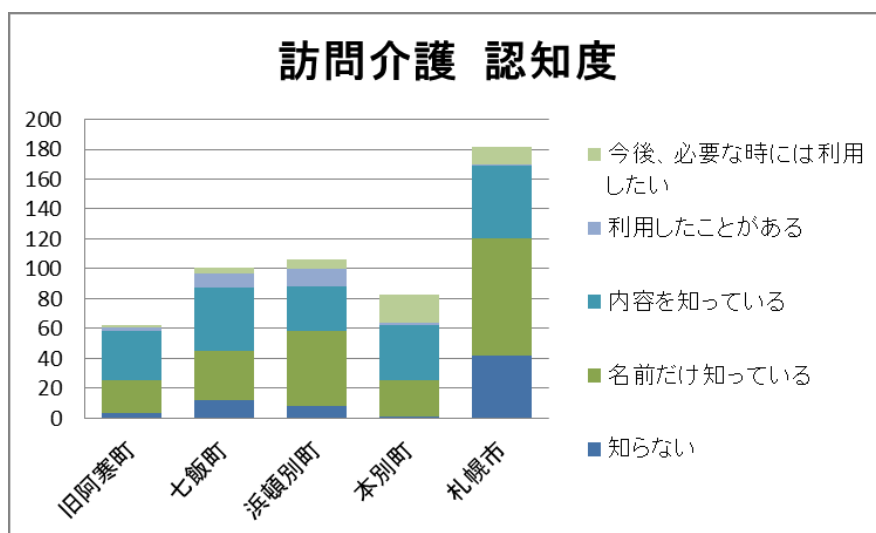
	知らない	名前だけ知っている	内容を知っている	利用したことがある	今後、必要な時には 利用したい	合計
旧阿寒町	21 31.3%	15 22.4%	24 35.8%	0 .0%	0 .0%	67 100.0%
七飯町	58 51.3%	28 24.8%	12 10.6%	0 .0%	3 2.7%	113 100.0%
浜頓別町	64 57.7%	25 22.5%	11 9.9%	0 .0%	5 4.5%	111 100.0%
本別町	17 16.7%	20 19.6%	29 28.4%	0 .0%	15 14.7%	102 100.0%
札幌市	96 43.6%	46 20.9%	21 9.5%	1 .5%	7 3.2%	220 100.0%
合計	256 41.8%	134 21.9%	97 15.8%	1 .2%	30 4.9%	613 100.0%

Q17-14 地区別にみる福祉用具貸与または販売の認知度と利用希望

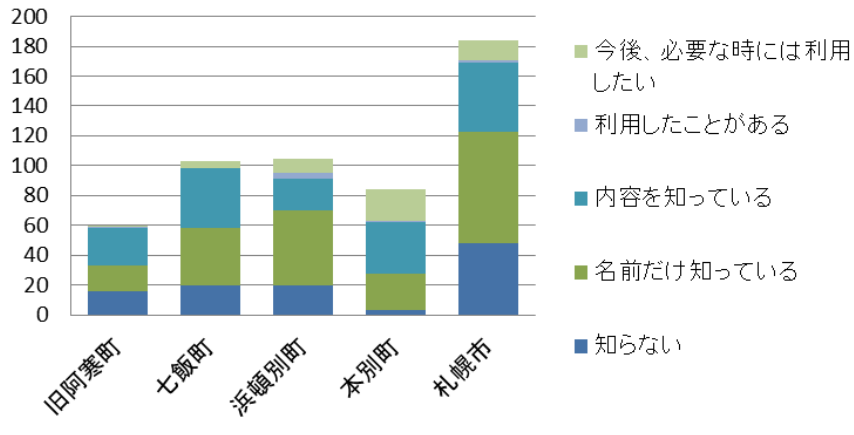
	知らない	名前だけ知っている	内容を知っている	利用したことがある	今後、必要な時には 利用したい	合計
旧阿寒町	17 25.4%	17 25.4%	26 38.8%	0 .0%	2 3.0%	67 100.0%
七飯町	37 32.7%	29 25.7%	23 20.4%	6 5.3%	4 3.5%	113 100.0%
浜頓別町	38 34.2%	39 35.1%	17 15.3%	6 5.4%	6 5.4%	111 100.0%
本別町	9 8.8%	25 24.5%	35 34.3%	1 1.0%	16 15.7%	102 100.0%
札幌市	81 36.8%	48 21.8%	36 16.4%	5 2.3%	10 4.5%	220 100.0%
合計	182 29.7%	158 25.8%	137 22.3%	18 2.9%	38 6.2%	613 100.0%

Q17-15 地区別にみる居宅介護支援の認知度と利用希望

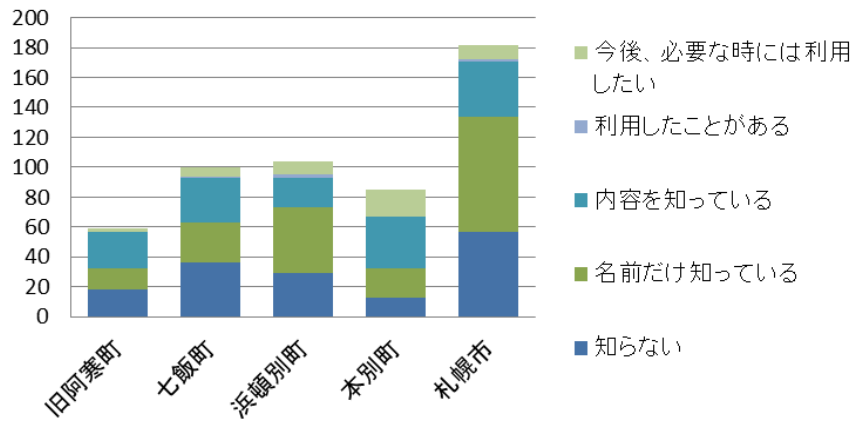
	知らない	名前だけ知っている	内容を知っている	利用したことがある	今後、必要な時には 利用したい	合計
旧阿寒町	17 25.4%	16 23.9%	26 38.8%	0 .0%	2 3.0%	67 100.0%
七飯町	44 38.9%	25 22.1%	24 21.2%	1 .9%	5 4.4%	113 100.0%
浜頓別町	38 34.2%	45 40.5%	16 14.4%	0 .0%	7 6.3%	111 100.0%
本別町	10 9.8%	21 20.6%	33 32.4%	1 1.0%	20 19.6%	102 100.0%
札幌市	85 38.6%	54 24.5%	29 13.2%	1 .5%	13 5.9%	220 100.0%
合計	194 31.6%	161 26.3%	128 20.9%	3 .5%	47 7.7%	613 100.0%



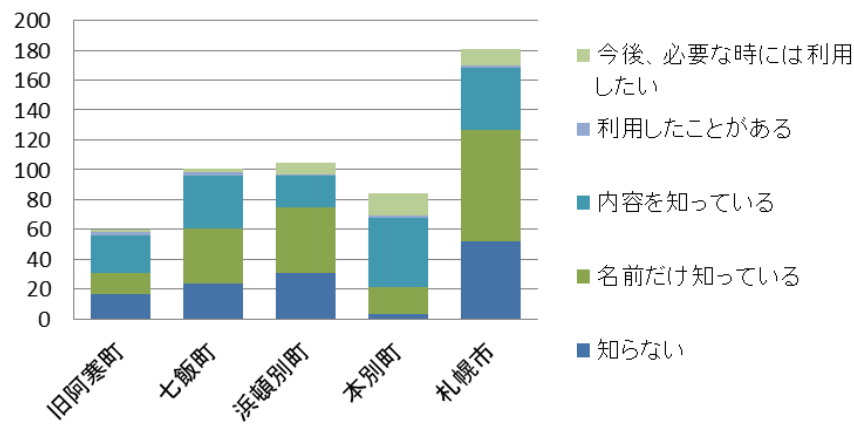
訪問看護 認知度



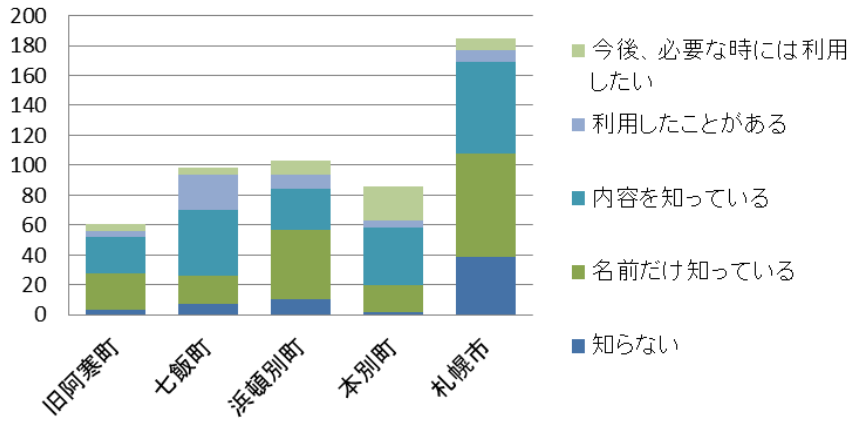
訪問リハビリ 認知度



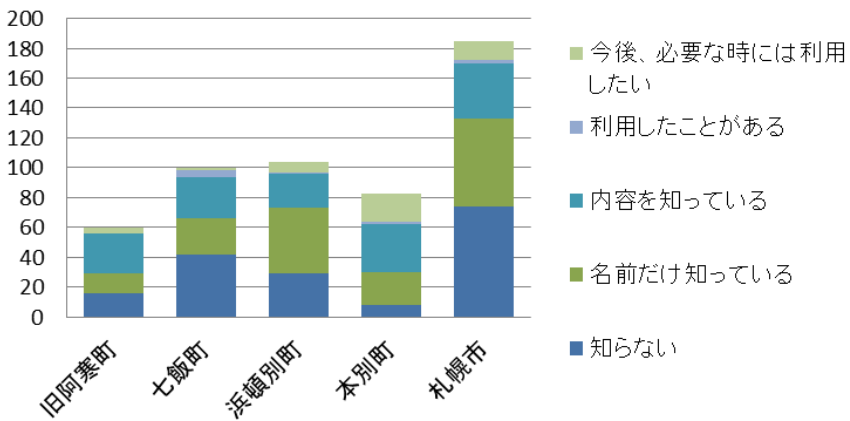
訪問入浴介護 認知度



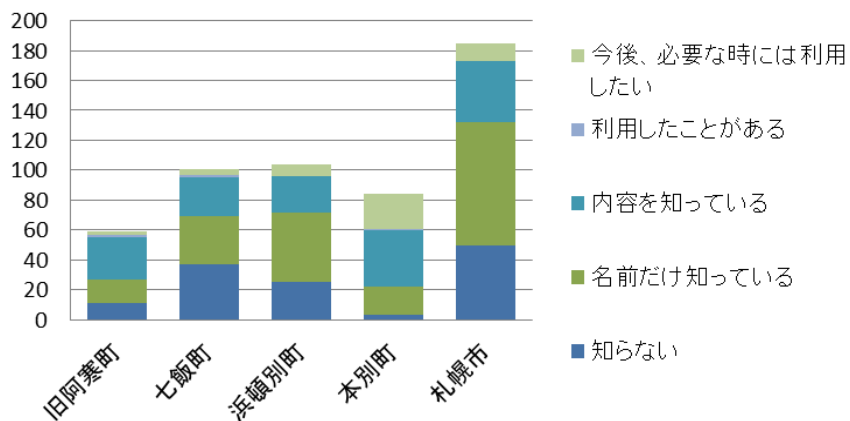
通所介護 認知度



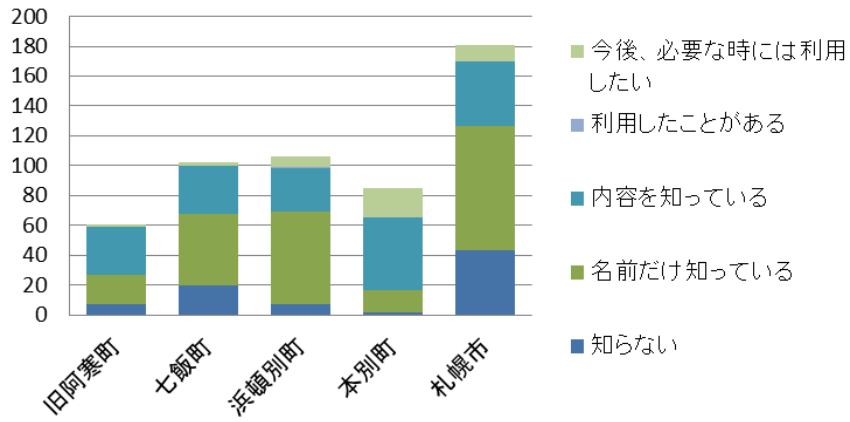
通所リハビリ 認知度



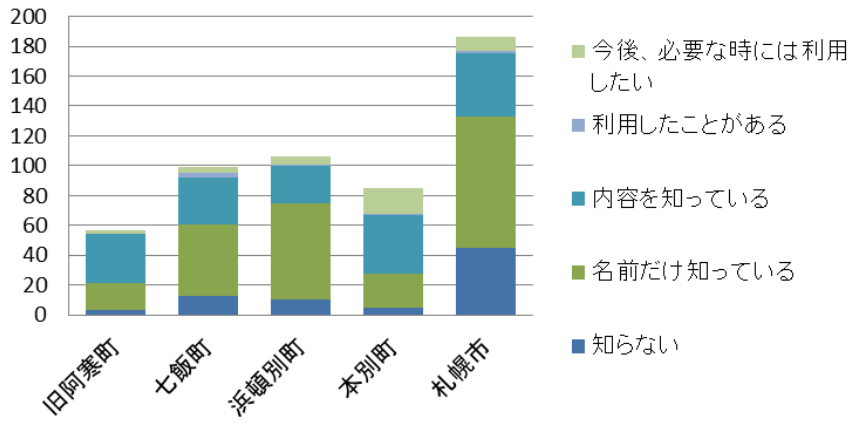
介護老人保健施設 認知度



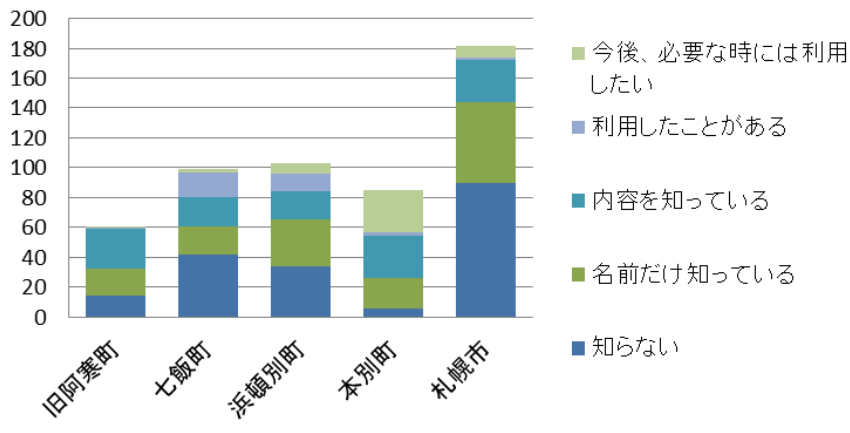
特別養護老人ホーム 認知度



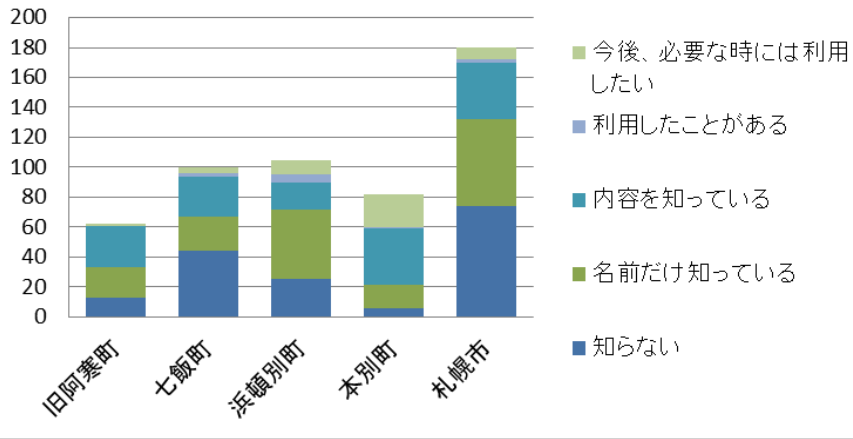
グループホーム 認知度



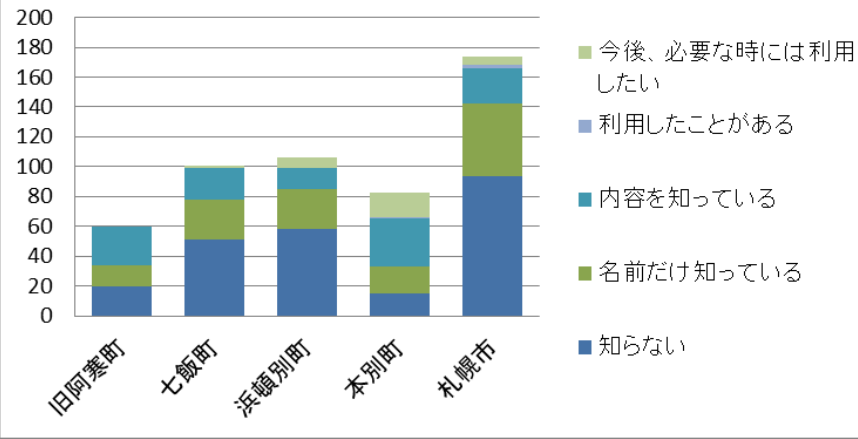
小規模多機能型居宅介護 認知度



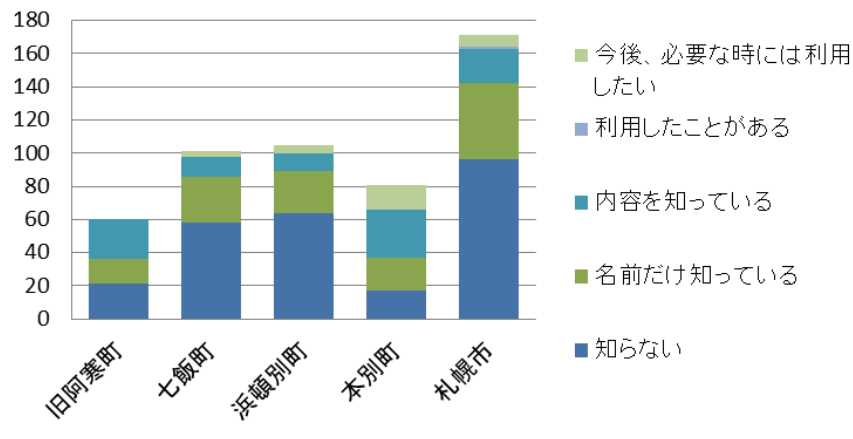
短期入所生活介護 認知度



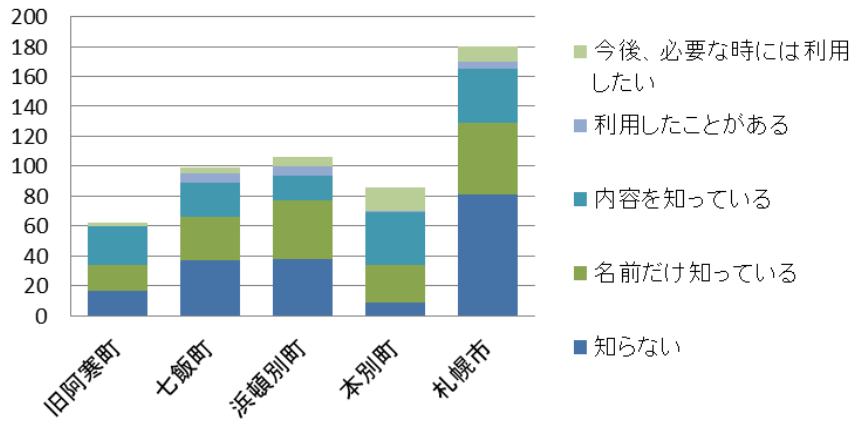
短期入所療養介護 認知度



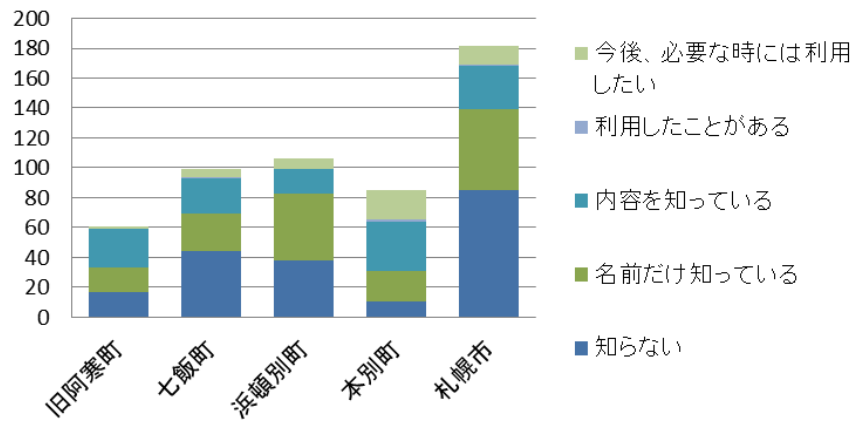
特定施設入居者生活介護 認知度



福祉用具貸与または販売 認知度



居宅介護支援 認知度



18. 身体状況とサービス認知度の分析について

設問 11（日常生活の困難なこと）と設問 12（身体状況）に関してそれぞれの項目で数値を割り振り、グループ分けを行い、設問 16（サービスの認知度）との相関関係を調べた。

まず、数値の割り振り方とグループ分けの方法を以下に述べる。

設問 11 に関して、「困っている」を 3、「どちらともいえない」を 2、「困っていない」を 1 とし、5 項目の合計点を算出した。その値を生活困難ポイントとし、そのポイントが 5～7.5 までを「生活困難レベル低」、7.6～15 までを「生活困難レベル高」とした。7.5 は機械計算上の中央値で、実際には 7 までのグループ「生活困難レベル低」と 8 以上のグループ「生活困難レベル高」で分かれている。

設問 12 に関しては、回答番号がそのままポイントの値とした（1「どこも悪いところはなく健康である」を 1 とし、4「身体に悪いところがあり、日常生活に大きく支障がある」を 4 とした）。そのポイントが 1 もしくは 2 の場合（回答で 1 もしくは 2 を選んだ場合）を身体状況良好群、3 もしくは 4 の場合は身体状況非良好群とした。

設問 16 は回答の A～E をそれぞれ 1～5 とポイントを振り分け、15～38 までを認知度高群、39～75 までを認知度低群とした。

《 それぞれのクロス表は以下に示したとおりである。 》

			認知度 G		合計
			認知度高	認知度低	
身体状況ポイント	身体状況良好群	度数	30	338	368
		身体状況ポイントの %	8.2%	91.8%	100.0%
		認知度 G の %	88.2%	82.6%	83.1%
		総和の %	6.8%	76.3%	83.1%
	身体状況非良好群	度数	4	71	75
		身体状況ポイントの %	5.3%	94.7%	100.0%
		認知度 G の %	11.8%	17.4%	16.9%
		総和の %	.9%	16.0%	16.9%
合計		度数	34	409	443
		身体状況ポイントの %	7.7%	92.3%	100.0%
		認知度 G の %	100.0%	100.0%	100.0%
		総和の %	7.7%	92.3%	100.0%

生活困難 G と 認知度 G のクロス表					
			認知度 G		合計
			認知度高	認知度低	
生活困難 G	生活困難 レベル低	度数	30	307	337
		生活困難 G の %	8.9%	91.1%	100.0%
		認知度 G の %	85.7%	77.7%	78.4%
		総和の %	7.0%	71.4%	78.4%
	生活困難 レベル高	度数	5	88	93
		生活困難 G の %	5.4%	94.6%	100.0%
		認知度 G の %	14.3%	22.3%	21.6%
		総和の %	1.2%	20.5%	21.6%
合計		度数	35	395	430
		生活困難 G の %	8.1%	91.9%	100.0%
		認知度 G の %	100.0%	100.0%	100.0%
		総和の %	8.1%	91.9%	100.0%

それぞれ生活レベルと身体状況を認知度別に相関分析を行ったところ、有意な差の見られる項目や有意差は見られなかった。以下にその表を載せる。

生活困難 G と 認知度 G のクロス表					
			認知度 G		合計
			認知度高	認知度低	
生活困難 G	生活困難 レベル低	度数	30	307	337
		期待度数	27.4	309.6	337.0
		調整済み残差	1.1	-1.1	
	生活困難 レベル高	度数	5	88	93
		期待度数	7.6	85.4	93.0
		調整済み残差	-1.1	1.1	
合計		度数	35	395	430
		期待度数	35.0	395.0	430.0

	値	自由度	漸近有意 確率 (両側)	正確有意 確率 (両側)	正確有意 確率 (片側)
Pearson の カイ 2 乗	1.212 ^a	1	.271		
連続修正 ^b	.786	1	.375		
尤度比	1.324	1	.250		
Fisher の 直接法				.391	.190
線型と線型 による連関	1.209	1	.272		
有効な ケースの数	430				

身体状況ポイント と 認知度 G のクロス表

			認知度 G		合計
			認知度高	認知度低	
身体状況 ポイント	身体状況良好群	度数	30	338	368
		期待度数	28.2	339.8	368.0
		調整済み残差	.8	-.8	
	身体状況非良好群	度数	4	71	75
		期待度数	5.8	69.2	75.0
		調整済み残差	-.8	.8	
合計		度数	34	409	443
		期待度数	34.0	409.0	443.0

カイ 2 乗検定					
	値	自由度	漸近有意確率 (両側)	正確有意確率 (両側)	正確有意確率 (片側)
Pearson の カイ 2 乗	.699 ^a	1	.403		
連続修正 ^b	.357	1	.550		
尤度比	.761	1	.383		
Fisher の 直接法				.485	.285
有効な ケースの数	443				

19. 近隣関係について

(1) 性別にみる近隣関係

男性は「挨拶をする程度」「簡単なことを頼む」「立ち話をする」、女性は「立ち話をする」「簡単なことを頼む」「挨拶をする程度」の順に多い。

性別にみる近隣関係

			近隣関係						合計
			どんな人か知らない	挨拶をする程度	立ち話	簡単なことを頼む	親交深い	その他	
問 1 性別	男	度数	12	84	82	84	53	1	230
		(%)	5.2%	36.5%	35.7%	36.5%	23.0%	.4%	
	女	度数	19	125	166	133	82	0	367
		(%)	5.2%	34.1%	45.2%	36.2%	22.3%	.0%	
合計		度数	31	209	248	217	135	1	597

注 複数回答のため右側の回答者数で回答数をパーセンテージで表記。

(2) 年齢別にみる近隣関係

おおむね「立ち話をする」が多いが、80～84歳では、「簡単な事を頼む」が最も多い。また、「どんな人か知らない」は全体を通して1割弱であり、何らかの近隣関係を有している。

年齢別にみる近隣関係										
		近隣関係							合計	
		どんな人か 知らない	挨拶をする程度	立ち話	簡単なことを頼む	親交深い	その他			
年齢	～59歳	度数	0	25	34	24	9	0	76	
		(%)	.0%	32.9%	44.7%	31.6%	11.8%	.0%		
	60～64歳	度数	3	32	33	29	21	1	94	
		(%)	3.2%	34.0%	35.1%	30.9%	22.3%	1.1%		
	65～69歳	度数	3	31	39	29	23	0	93	
		(%)	3.2%	33.3%	41.9%	31.2%	24.7%	.0%		
	70～74歳	度数	7	37	38	37	23	0	105	
		(%)	6.7%	35.2%	36.2%	35.2%	21.9%	.0%		
	75～79歳	度数	8	32	41	36	19	0	89	
		(%)	9.0%	36.0%	46.1%	40.4%	21.3%	.0%		
	80～84歳	度数	6	23	26	33	18	0	69	
		(%)	8.7%	33.3%	37.7%	47.8%	26.1%	.0%		
	85～89歳	度数	2	20	27	20	15	0	47	
		(%)	4.3%	42.6%	57.4%	42.6%	31.9%	.0%		
	90歳～	度数	1	8	10	8	7	0	22	
		(%)	4.5%	36.4%	45.5%	36.4%	31.8%	.0%		
	合計		度数	30	208	248	216	135	1	595
	注 複数回答のため右側の回答者数で回答数をパーセンテージで表記。									

(3) 住まいにみる近隣関係

一戸建てでは、「立ち話をする」や「簡単な事を頼む」が4割を占めるが、アパートや高層住宅等では、「挨拶をする程度」や「立ち話をする」の割合が高く、集合住宅における近隣関係はあまり緊密ではないことがうかがえる。

住まいの構造と近隣関係									
			近隣関係					合計	
			どんな人か知らない	挨拶をする程度	立ち話	簡単な事を頼む	親交深い		
住まいの構造	一戸建て	度数	2	109	163	159	109	372	
		(%)	0.5%	29.3%	43.8%	42.7%	29.3%		
	アパート	度数	18	43	38	23	10	108	
		(%)	16.7%	39.8%	35.2%	21.3%	9.3%		
	高層住宅	度数	1	31	27	16	9	52	
		(%)	1.9%	59.6%	51.9%	30.8%	17.3%		
	その他	度数	2	6	4	7	1	15	
		(%)	13.3%	40.0%	26.7%	46.7%	6.7%		
	合計		度数	23	189	232	205	129	547
	注 複数回答のため右側の回答者数で回答数をパーセンテージで表記。								

20. 困りごと（誰がどのようなことに困りごとを感じているのか？）

困りごとを解決するためにはどのようなサービスを想定する必要があるのか？

（１）性別にみる困りごと

男性より女性に「困っている」ものが多いのは、「買い物」「病院の通院・受診」「除雪排雪」「ゴミ出し」の四項目で、「家事」は女性より男性に困りごとが多い。

			食品等の買い物				合計
			無回答	困っている	どちらともいえない	困っていない	
問1 性別	男	度数	11	12	28	182	233
		%	4.7%	5.2%	12.0%	78.1%	100.0%
	女	度数	22	26	58	267	373
		%	5.9%	7.0%	15.5%	71.6%	100.0%
合計		度数	33	38	86	449	606
		%	5.4%	6.3%	14.2%	74.1%	100.0%

			病院通院・受診				合計
			無回答	困っている	どちらともいえない	困っていない	
問1 性別	男	度数	9	22	30	172	233
		%	3.9%	9.4%	12.9%	73.8%	100.0%
	女	度数	20	46	51	256	373
		%	5.4%	12.3%	13.7%	68.6%	100.0%
合計		度数	29	68	81	428	606
		%	4.8%	11.2%	13.4%	70.6%	100.0%

			家事				合計
			無回答	困っている	どちらともいえない	困っていない	
問1 性別	男	度数	14	16	15	188	233
		%	6.0%	6.9%	6.4%	80.7%	100.0%
	女	度数	24	23	36	290	373
		%	6.4%	6.2%	9.7%	77.7%	100.0%
合計		度数	38	39	51	478	606
		%	6.3%	6.4%	8.4%	78.9%	100.0%

			除雪排雪				合計
			無回答	困っている	ない どちらともいえない	困っていない	
問1 性別	男	度数	11	40	28	154	233
		問1 性別の%	4.7%	17.2%	12.0%	66.1%	100.0%
	女	度数	19	75	40	239	373
		問1 性別の%	5.1%	20.1%	10.7%	64.1%	100.0%
合計		度数	30	115	68	393	606
		問1 性別の%	5.0%	19.0%	11.2%	64.9%	100.0%

			ゴミ出し				合計
			無回答	困っている	どちらともいえない	困っていない	
問1 性別	男	度数	14	12	23	184	233
		問1 性別の%	6.0%	5.2%	9.9%	79.0%	100.0%
	女	度数	24	25	28	296	373
		問1 性別の%	6.4%	6.7%	7.5%	79.4%	100.0%
合計		度数	38	37	51	480	606
		問1 性別の%	6.3%	6.1%	8.4%	79.2%	100.0%

(2) 年齢別にみる困りごと

特に、「買い物」「家事」は年齢が高くなるにつれて「困っていない」と回答する割合が低くなる（「困っている」という回答割合は年齢の上昇に伴って高まり、何らかの困りごとであるとの認識である）。「除雪排雪」も年齢が高くなるにつれて「困っている」割合が高くなるが、「困っていない」割合は75歳までは減少、75歳以上から再び増加している。

			食品等の買い物				合計
			無回答	困っている	どちらともいえない	困っていない	
問2 年齢	~59歳	度数	2	0	4	70	76
		%	2.6%	.0%	5.3%	92.1%	100.0%
	60~64歳	度数	6	5	8	76	95
		%	6.3%	5.3%	8.4%	80.0%	100.0%
	65~69歳	度数	3	3	14	74	94
		%	3.2%	3.2%	14.9%	78.7%	100.0%
	70~74歳	度数	8	7	19	74	108
		%	7.4%	6.5%	17.6%	68.5%	100.0%
	75~79歳	度数	8	7	14	62	91

		%	8.8%	7.7%	15.4%	68.1%	100.0%	
	80~84歳	度数	3	6	14	46	69	
		%	4.3%	8.7%	20.3%	66.7%	100.0%	
	85~89歳	度数	2	6	7	33	48	
		%	4.2%	12.5%	14.6%	68.8%	100.0%	
	90歳~	度数	1	3	6	13	23	
		%	4.3%	13.0%	26.1%	56.5%	100.0%	
合計		度数	33	37	86	448	604	
		%	5.5%	6.1%	14.2%	74.2%	100.0%	
			病院通院・受診					
			無回答	困っている	どちらともはいえない	困っていない	合計	
問2 年齢	~59歳	度数	2	5	9	60	76	
		%	2.6%	6.6%	11.8%	78.9%	100.0%	
	60~64歳	度数	7	9	5	74	95	
		%	7.4%	9.5%	5.3%	77.9%	100.0%	
	65~69歳	度数	3	7	15	69	94	
		%	3.2%	7.4%	16.0%	73.4%	100.0%	
	70~74歳	度数	7	12	20	69	108	
		%	6.5%	11.1%	18.5%	63.9%	100.0%	
	75~79歳	度数	6	15	12	58	91	
		%	6.6%	16.5%	13.2%	63.7%	100.0%	
	80~84歳	度数	2	12	9	46	69	
		%	2.9%	17.4%	13.0%	66.7%	100.0%	
	85~89歳	度数	2	4	9	33	48	
		%	4.2%	8.3%	18.8%	68.8%	100.0%	
	90歳~	度数	1	3	2	17	23	
		%	4.3%	13.0%	8.7%	73.9%	100.0%	

		食品等の買い物					合計	
		無回答	困っている	どちらともはいえない	困っていない			
問2 年齢	~59歳	度数	2	0	4	70	76	
		%	2.6%	.0%	5.3%	92.1%	100.0%	
	60~64歳	度数	6	5	8	76	95	
		%	6.3%	5.3%	8.4%	80.0%	100.0%	
	65~69歳	度数	3	3	14	74	94	
		%	3.2%	3.2%	14.9%	78.7%	100.0%	
	70~74歳	度数	8	7	19	74	108	
		%	7.4%	6.5%	17.6%	68.5%	100.0%	
	75~79歳	度数	8	7	14	62	91	
		%	8.8%	7.7%	15.4%	68.1%	100.0%	
	80~84歳	度数	3	6	14	46	69	
		%	4.3%	8.7%	20.3%	66.7%	100.0%	
	85~89歳	度数	2	6	7	33	48	
		%	4.2%	12.5%	14.6%	68.8%	100.0%	
	90歳~	度数	1	3	6	13	23	
		%	4.3%	13.0%	26.1%	56.5%	100.0%	
	合計		度数	33	37	86	448	604
	合計		%	5.0%	11.1%	13.4%	70.5%	100.0%

			家事				合計	
			無回答	困っている	どちらともはいえない	困っていない		
問2 年齢	~59歳	度数	2	0	3	71	76	
		%	2.6%	.0%	3.9%	93.4%	100.0%	
	60~64歳	度数	8	4	3	80	95	
		%	8.4%	4.2%	3.2%	84.2%	100.0%	
	65~69歳	度数	3	4	8	79	94	
		%	3.2%	4.3%	8.5%	84.0%	100.0%	
	70~74歳	度数	13	8	6	81	108	
		%	12.0%	7.4%	5.6%	75.0%	100.0%	
	75~79歳	度数	6	6	8	71	91	
		%	6.6%	6.6%	8.8%	78.0%	100.0%	
	80~84歳	度数	4	6	11	48	69	
		%	5.8%	8.7%	15.9%	69.6%	100.0%	
	85~89歳	度数	2	7	7	32	48	
		%	4.2%	14.6%	14.6%	66.7%	100.0%	
	90歳~	度数	1	4	5	13	23	
		%	4.3%	17.4%	21.7%	56.5%	100.0%	
	合計		度数	39	39	51	475	604
			%	6.5%	6.5%	8.4%	78.6%	100.0%

			除雪排雪				合計	
			無回答	困っている	どきどきともいえない	困っていない		
問2 年齢	~59歳	度数	1	3	4	68	76	
		%	1.3%	3.9%	5.3%	89.5%	100.0%	
	60~64歳	度数	7	12	9	67	95	
		%	7.4%	12.6%	9.5%	70.5%	100.0%	
	65~69歳	度数	2	14	16	62	94	
		%	2.1%	14.9%	17.0%	66.0%	100.0%	
	70~74歳	度数	12	26	12	58	108	
		%	11.1%	24.1%	11.1%	53.7%	100.0%	
	75~79歳	度数	4	21	12	54	91	
		%	4.4%	23.1%	13.2%	59.3%	100.0%	
	80~84歳	度数	2	17	11	39	69	
		%	2.9%	24.6%	15.9%	56.5%	100.0%	
	85~89歳	度数	2	15	3	28	48	
		%	4.2%	31.3%	6.3%	58.3%	100.0%	
	90歳~	度数	1	7	1	14	23	
		%	4.3%	30.4%	4.3%	60.9%	100.0%	
	合計		度数	31	115	68	390	604
			%	5.1%	19.0%	11.3%	64.6%	100.0%

			ゴミ出し				合計	
			無回答	困っている	どちらともいえない	困っていない		
問2 年齢	~59歳	度数	3	1	4	68	76	
		%	3.9%	1.3%	5.3%	89.5%	100.0%	
	60~64歳	度数	8	4	3	80	95	
		%	8.4%	4.2%	3.2%	84.2%	100.0%	
	65~69歳	度数	4	3	4	83	94	
		%	4.3%	3.2%	4.3%	88.3%	100.0%	
	70~74歳	度数	13	4	14	77	108	
		%	12.0%	3.7%	13.0%	71.3%	100.0%	
	75~79歳	度数	5	6	12	68	91	
		%	5.5%	6.6%	13.2%	74.7%	100.0%	
	80~84歳	度数	4	5	7	53	69	
		%	5.8%	7.2%	10.1%	76.8%	100.0%	
	85~89歳	度数	1	10	5	32	48	
		%	2.1%	20.8%	10.4%	66.7%	100.0%	
	90歳~	度数	1	4	2	16	23	
		%	4.3%	17.4%	8.7%	69.6%	100.0%	
	合計		度数	39	37	51	477	604
			%	6.5%	6.1%	8.4%	79.0%	100.0%

(3) 世帯別にみる困りごと

単身者では「家事」「除雪排雪」、夫婦のみでは「除雪排雪」の割合が多い。また、子どもや孫などの家族との同居の場合は困りごとの割合は極めて低いものの、義理の父または義理の母との同居では「除雪排雪」に困りごとがみられる。

(4) 収入額別にみる困りごと

「買い物」は年収 101～150 万円に最も多いが、それ以外は困りごとと収入額の関連はみられない。

(5) 住まいにみる困りごと

「病院通院・受診」はアパート住まい、「除雪排雪」はすべての住まい、「ゴミ出し」は高層住宅に多い。

(6) 身体状況にみる困りごと

いずれの項目も「身体に悪いところがあり日常生活に大きく支障がある」者が「困っている」と回答している割合が高い。

21. 身体状況と介護保険等のサービス利用 介護事情

現実生活における介護保険利用や要介護認定および自分の身体状況との関係

(1) 性別

男性は「どこも悪いところはなく健康である」、女性は「身体に悪いところがあり日常生活にやや支障がある」が多い。

		問 1 性別		合計
		男	女	
問 1 2 身体状況	どこも悪いところはなく健康である	54	68	122
		44.3%	55.7%	100.0%
	気になるところはあるが日常生活に支障はない	133	213	346
		38.4%	61.6%	100.0%
	身体に悪いところがあり日常生活にやや支障がある	32	60	92
		34.8%	65.2%	100.0%
	身体に悪いところがあり日常生活に大きく支障がある	9	13	22
	40.9%	59.1%	100.0%	
その他	1	0	1	
	100.0%	.0%	100.0%	
合計		229	354	583
		39.3%	60.7%	100.0%

(2) 年齢別

65歳までは「どこも悪いところはなく健康である」割合が高いが、70代は「気になるところはあるが日常生活に支障はない」、80歳代は「身体に悪いところがあり日常生活にやや支障がある」、さらに90代以降は「身体に悪いところがあり日常生活に大きく支障がある」が増加するなど、年齢が上昇するにつれて身体状況が悪化している。

			問2 年齢								合計
			~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳~	
身体状況	どこも悪いところはなく健康である	度数	44	25	24	14	6	7	2	1	123
		%	35.8%	20.3%	19.5%	11.4%	4.9%	5.7%	1.6%	.8%	100.0%
	気になるところはあるが日常生活に支障はない	度数	29	59	55	69	62	33	27	11	345
		%	8.4%	17.1%	15.9%	20.0%	18.0%	9.6%	7.8%	3.2%	100.0%
	身体に悪いところがあり日常生活にやや支障	度数	2	7	9	16	14	23	14	6	91
		%	2.2%	7.7%	9.9%	17.6%	15.4%	25.3%	15.4%	6.6%	100.0%
	身体に悪いところがあり日常生活に大きく支障	度数	0	2	3	4	2	4	3	4	22
		%	.0%	9.1%	13.6%	18.2%	9.1%	18.2%	13.6%	18.2%	100.0%
	その他	度数	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		%	.0%	.0%	.0%	100.0%	.0%	.0%	.0%	.0%	100.0%
	合計	度数	75	93	91	104	84	67	46	22	582
		%	12.9%	16.0%	15.6%	17.9%	14.4%	11.5%	7.9%	3.8%	100.0%

(3) 世帯別

単身と夫婦のみは「気になるところがあるが日常生活に支障はない」が多いことが共通しているが、「どこも悪いところはなく健康である」夫婦と「身体に悪いところがあり日常生活にやや支障がある」単身者に違いがみられる。

		問12 身体状況						合計
		どこも悪いところはなく健康である	気になるところはあるが日常生活に支障はない	身体に悪いところがあり日常生活にやや支障がある	身体に悪いところがあり日常生活に大きく支障がある	その他		
世帯類型	単身	度数	21	88	33	6	0	148
		(%)	14.2%	59.5%	22.3%	4.1%	.0%	
	夫婦のみ	度数	78	189	35	10	1	313
		(%)	24.9%	60.4%	11.2%	3.2%	.3%	
	娘	度数	33	53	17	1	0	104
		(%)	31.7%	51.0%	16.3%	1.0%	.0%	
	息子	度数	28	60	15	3	1	107
		(%)	26.2%	56.1%	14.0%	2.8%	.9%	
	実母	度数	10	17	1	0	0	28
		(%)	35.7%	60.7%	3.6%	.0%	.0%	
	実父	度数	6	4	1	0	0	11
		(%)	54.5%	36.4%	9.1%	.0%	.0%	
	義理母	度数	4	8	2	0	0	14
		(%)	28.6%	57.1%	14.3%	.0%	.0%	
	義理父	度数	2	2	0	0	0	4
		(%)	50.0%	50.0%	.0%	.0%	.0%	
	義理息子・娘	度数	1	15	5	1	0	22
		(%)	4.5%	68.2%	22.7%	4.5%	.0%	
	孫	度数	3	29	5	1	0	38
		(%)	7.9%	76.3%	13.2%	2.6%	.0%	
その他	度数	2	11	0	2	0	15	
	(%)	13.3%	73.3%	.0%	13.3%	.0%		
合計	度数	123	337	91	20	1	572	

注 複数回答で合計欄の人数に対する回答数をパーセンテージで表示

(4) 要介護

認定者は身体状況が悪くなるにつれて増加している。しかし、身体状況がおもわしくなくても認定を受けていない人も少なくない。

		問13 要介護認定				合計
		認定を受けている	認定は受けていない	認定は受けたが 非該当だった		
問12 身体状況	どこも悪いところはなく 健康である	度数	2	119	0	121
		%	1.7%	98.3%	.0%	100.0%
	気になるところはある 日常生活に支障はない	度数	39	288	3	330
		%	11.8%	87.3%	.9%	100.0%
	身体に悪いところあり 日常生活にやや支障	度数	40	47	3	90
		%	44.4%	52.2%	3.3%	100.0%
	身体に悪いところあり 日常生活に大きく支障	度数	16	5	0	21
		%	76.2%	23.8%	.0%	100.0%
その他	度数	0	1	0	1	
	%	.0%	100.0%	.0%	100.0%	
合計		度数	97	460	6	563
		%	17.2%	81.7%	1.1%	100.0%

22. サービスの認知と利用の有無および利用希望

(1) サービス認知度及び利用経験と世帯構成

訪問介護は、単身の場合、「知らない」と「利用経験あり」がほぼ半数を占めるが、夫婦など同居者がいる場合、「知らない」割合が高まっている。通所介護（デイサービス）も単身者、子どもとの同居の場合に「利用経験あり」の割合が高い。

(2) サービス認識度及び利用経験と年収

訪問介護は、年収 51～300 万円に利用者が多い。デイサービスは、年収 101～300 万円にサービスがよく知られている傾向にある。グループホームは、年収 201～350 万円に利用者が多い。小規模多機能型居宅介護は、年収 151～300 万円に利用者が多い。福祉用具貸与・販売は、年収 151～300 万円に利用者が多い。

(3) サービス認識度及び利用経験と困りごと

訪問看護、デイサービスおよび小規模多機能型居宅介護利用者は、困りごとを抱えている人が多い。

(4) サービス認識度及び利用経験と身体状況

身体状況が悪くなるにしたがって訪問介護、訪問入浴介護、デイサービス利用者割合が増加する。また、これらは身体状況が重度化するほど、サービス認識度が高まる。

(5) サービス認識度及び利用経験と要介護認定

認定者・非認定者にかかわらずサービスを「知らない」と回答した割合はほぼ 8 割を超えているが、認定者は訪問介護、デイサービス、小規模多機能型居宅介護の利用割合が高い。

(6) 介護の受け手の状況

介護を受けている人の 6 割が訪問介護を利用している。デイサービスでは 8 割以上が利用している。配偶者による介護、同居する娘による介護、別居している娘による介護、別居している息子による介護である場合、介護を受けている高齢者はデイサービスを利用する傾向が強い。

23. 調査対象自治体（5カ所）の介護保険サービス提供一覧(2011年度)

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
訪問介護	×	○	○	○	○
訪問看護	×	○	×	○	○
訪問リハ	×	×	×	×	○
訪問入浴	×	○	×	×	○
デイサービス	○	○	○	○	○
通所リハ	×	○	○	×	○
老健	×	○	×	○	○
特養	×	○	○	○	○
GH	×	○	○	○	○
小規模多機能	○	○	○	○	○
短期入所生活介護	×	○	○	×	○
短期入所療養介護	×	○	×	×	○
特定施設入居者生活介護	×	○	×	○	○
福祉用具貸与・販売	×	○	×	○	○
居宅介護支援	○	○	○	○	○

注 WAMNET 情報をもとに作成

地域ごとの特徴

旧阿寒町…町内に整備されているサービスや施設は少ないが、近隣市町村にあり。

七飯町…町内と町外のサービス・施設が充実。

浜頓別町…町内外ともにサービス・施設数は少ない。

本別町…町内のサービス整備の水準は比較的高め。

札幌市…すべてのサービス・施設が市内に整備されている。

サービスごとの特徴

すべての地域にあるサービス…デイサービス、小規模多機能型居宅介護。

訪問リハ、訪問入浴、短期入所療養介護は少ない。

旧阿寒町

	サービス有無	知らない	利用している
訪問介護	×	4.5%	4.5%
訪問看護	×	23.9%	1.5%
訪問リハ	×	26.9%	0%
訪問入浴	×	25.4%	3%
デイサービス	○	4.5%	6%
通所リハ	×	23.9%	0%
老健	×	16.4%	3%
特養	×	10.4%	0%
GH	×	4.5%	0%
小規模多機能	○	20.9%	1.5%
短期入所生活介護	×	19.4%	0%
短期入所療養介護	×	29.9%	0%
特定施設入居者生活介護	×	31.3%	0%
福祉用具貸与・販売	×	25.4%	0%
居宅介護支援	○	25.4%	0%

サービスの認知度が低いもの…特定施設入居者生活介護、短期入所療養介護、訪問リハ。

サービス利用経験…「ほぼない」が大半。

七飯町

	サービス有無	知らない	利用している
訪問介護	○	10.6%	3.5%
訪問看護	○	17.7%	0%
訪問リハ	×	31.9%	0.9%
訪問入浴	○	21.2%	1.8%
デイサービス	○	6.2%	21.2%
通所リハ	○	37.2%	3.5%
老健	○	32.7%	1.8%
特養	○	17.7%	0%
GH	○	11.5%	2.7%
小規模多機能	○	37.2%	15%
短期入所生活介護	○	38.9%	1.8%
短期入所療養介護	○	45.1%	0%
特定施設入居者生活介護	○	51.3%	0%
福祉用具貸与・販売	○	32.7%	5.3%
居宅介護支援	○	38.9%	0.9%

サービス認知が低いもの…特定施設入居者生活介護、短期入所療養介護、福祉用具貸与・販売、居宅介護支援

サービス利用経験…デイサービス、訪問看護、訪問リハがそれぞれ全体の20%前後。

浜頓別町

	サービス有無	知らない	利用している
訪問介護	○	7.2%	10.8%
訪問看護	×	18.0%	18.9%
訪問リハ	×	26.1%	18.0%
訪問入浴	×	27.9%	0.9%
デイサービス	○	9.0%	24.3%
通所リハ	○	26.1%	0.9%
老健	×	22.5%	0%
特養	○	6.3%	0.9%
GH	○	9.0%	0.9%
小規模多機能	○	30.6%	10.8%
短期入所生活介護	○	22.5%	4.5%
短期入所療養介護	×	52.3%	0%
特定施設入居者生活介護	×	57.7%	0%
福祉用具貸与・販売	×	34.2%	5.4%
居宅介護支援	○	34.2%	0%

サービス認知が低いもの…特定施設入居者生活介護、短期入所療養介護、訪問リハが高いが、その他は1割未満。

サービス利用経験…「ほぼない」ものが大半。

本別町

	サービス有無	知らない	利用している
訪問介護	○	19.1%	0.5%
訪問看護	○	21.8%	0.9%
訪問リハ	○	25.9%	4.5%
訪問入浴	○	23.6%	0.9%
デイサービス	○	17.7%	3.6%
通所リハ	○	33.6%	0.9%
老健	○	22.7%	0%
特養	○	19.5%	0%
GH	○	20.5%	0.9%
小規模多機能	○	40.9%	0.9%
短期入所生活介護	○	33.6%	0.9%
短期入所療養介護	○	42.7%	0.9%
特定施設入居者生活介護	○	43.6%	0.5%
福祉用具貸与・販売	○	36.8%	2.3%
居宅介護支援	○	38.6%	0.5%

サービス認知が低いもの…特定施設入居者生活介護、短期入所療養介護、訪問リハが高いが、その他は1割未満。

サービス利用経験…「ほぼない」ものが大半。

札幌市

	サービス有無	知らない	利用している
訪問介護	○	19.1%	0.5%
訪問看護	○	21.8%	0.9%
訪問リハ	○	25.9%	4.5%
訪問入浴	○	23.6%	0.9%
デイサービス	○	17.7%	3.6%
通所リハ	○	33.6%	0.9%
老健	○	22.7%	0%
特養	○	19.5%	0%
GH	○	20.5%	0.9%
小規模多機能	○	40.9%	0.9%
短期入所生活介護	○	33.6%	0.9%
短期入所療養介護	○	42.7%	0.9%
特定施設入居者生活介護	○	43.6%	0.5%
福祉用具貸与・販売	○	36.8%	2.3%
居宅介護支援	○	38.6%	0.5%

サービス認知が低いもの…特定施設入居者生活介護、短期入所療養介護、小規模多機能型
居宅介護

サービス利用経験…「ほぼない」ものが大半

全体を通して…

サービス認知が低い…特定施設入居者生活介護、短期入所療養介護

サービス認知が高い…デイサービス

サービス利用経験…約8割が介護認定を受けていないため、利用経験割合は低い。

1. 訪問介護

市町村別のサービス数 (wamnet より)

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
介護有無	×	○	○	○	○
	0 (町外 3)	8 (町外 52)	1 (町外 1)	3 (町外 1)	4 8 8

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
予防有無	×	○	○	○	○
	0 (町外 3)	8 (町外 52)	1 (町外 1)	3 (町外 1)	4 7 9

2. 訪問看護

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
介護有無	×	○	×	○	○
	0 (町外 0)	1 (町外 10)	0 (町外 0)	1	9 8

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
予防有無	×	○	×	○	○
	0 (町外 0)	1 (町外 8)	0 (町外 0)	1 (町外 0)	9 8

3. 訪問リハビリ

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
介護有無	×	×	×	×	○
	0 (町外 0)	0 (町外 3)	0 (町外 0)	0 (町外 0)	2 5

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
予防有無	×	×	×	×	○
	0 (町外 0)	0 (町外 2)	0 (町外 0)	0 (町外 0)	1 8

4. 訪問入浴介護

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
介護有無	×	○	×	×	○
	0 (町外 0)	1 (町外 4)	0 (町外 0)	0 (町外 1)	1 1

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
予防有無	×	○	×	×	○
	0 (町外 0)	1 (町外 4)	0 (町外 0)	0 (町外 1)	1 1

5. 通所介護（デイサービス）

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
介護有無	○	○	○	○	○
	1（町外0）	7（町外29）	1（町外0）	1（町外0）	370

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
予防有無	○	○	○	○	○
	1（町外0）	7（町外27）	1（町外0）	1（町外0）	349

6. 通所リハ

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
介護有無	×	○	○	×	○
	0（町外0）	2（町外5）	1（町外0）	0（町外1）	48

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
予防有無	×	○	○	×	○
	0（町外0）	2（町外5）	1（町外0）	0（町外1）	45

7. 老健

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
有無	×	○	×	○	○
	0	1	0	1	44

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
有無	×	○	○	○	○
	0	1	2	1	47

8. グループホーム

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
介護有無	×	○	○	○	○
	0	6	1	1	247

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
予防有無	×	○	○	○	○
	0	6	1	1	247

9. 小規模多機能型居宅介護

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
介護有無	○	○	○	○	○
	1	2	1	3	6 7

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
予防有無	○	○	○	○	○
	1	2	1	3	4 6

10. 短期入所生活介護（ショートステイ）

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
介護有無	×	○	○	×	○
	0（町外0）	2（町外17）	1（町外0）	0（町外0）	6 4

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
予防有無	×	○	○	×	○
	0（町外0）	2（町外15）	1（町外0）	0（町外0）	6 1

11. 短期入所療養介護

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
介護有無	×	○	×	×	○
	0（町外0）	2（町外6）	0（町外0）	0（町外0）	1 1

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
予防有無	×	○	×	×	○
	0（町外0）	1（町外7）	0（町外0）	0（町外0）	9

12. 特定施設入居者生活介護

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
介護有無	×	○	×	○	○
	0	4	0	1	8 3

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
予防有無	×	○	×	○	○
	0	4	0	1	8 2

1 3. 福祉用具貸与

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
介護有無	×	○	×	○	○
	0 (町外 6)	1 (町外 20)	0 (町外 2)	1 (町外 16)	8 3

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
予防有無	×	○	×	○	○
	0 (町外 6)	1 (町外 20)	0 (町外 2)	1 (町外 16)	8 1

1 4. 販売

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
介護有無	×	○	×	○	○
	0 (町外 5)	1 (町外 20)	0 (町外 2)	2 (町外 14)	8 9

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
予防有無	×	○	×	○	○
	0 (町外 5)	1 (町外 20)	0 (町外 2)	2 (町外 14)	8 8

1 5. 居宅介護支援

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
介護有無	○	○	○	○	○
	1 (町外 4)	7 (町外 59)	2	1	3 8 1

	旧阿寒町	七飯町	浜頓別町	本別町	札幌市
予防有無	○	○	○	○	○
	1	1	1	1	2 1

24. まとめ

最後に、介護問題における情報システムの重要性についてまとめておく。

1. ワンストップ対応

突然訪れる介護問題に対して情報の収集であるが、まず信頼を頼りに情報を求めることになる。実はこれについて、あてがない人が圧倒的多数を占めている。したがって、アクセスをワンストップにする必要がある。

2. 情報提供の責任

まずは、行政・事業者として、伝えることの重要性を理解しなくてはならない。そこで必要なことは、意味不明な用語は使わないことを原則にすべきである。介護保険制度では次々と造語が創り出され日常生活で使わない用語が乱発されている。明快に分かりやすい用語を自治体・事業者に使わせるようにしなくてはならない。

3. つなぐ＝ネットワーキングの必要性

情報は、利用者と家族および地域住民をつなぐものであり、支えるものである。そこにおける専門職と地域の関係者のネットワーキングを創出する必要がある。

4. ニーズを聞き取る場と機会の確保

これには、サロンの活用と聞き取りを含めた丁寧なアンケート調査の継続的实施が欠かせない。

5. 訪問活動：アウトリーチの取り組み

本別町の担当者が指摘していたことであるが、心配されるケースの発見に努めると同時に積極的なアプローチを宣言して実行する姿勢が重要である。本別町は社会福祉協議会と民生委員・児童委員との連携が円滑であり機動的に対応されている。

第Ⅳ部

シンポジウム開催とその他の取り組み

特別研究講演と実践指導

～心のうた、日本のうたを家庭・社会・地域に広げる～

日本人にとっての音楽療法を考える

学術博士・声楽家 藍川 由美

- ① 介護の現場に必要な音楽とは？
- ② 歌うことはなぜ身体に良いのか？
- ③ 歌う前には準備運動が必要
- ④ 日本語を歌うコツ
- ⑤ 歌のガイドライン
- ⑥ 最後に



【注意】

著作権法により、掲載文章の無断転用・転載は禁止されています。

日本人にとっての音楽療法を考える

学術(音楽)博士 藍川由美

① 介護の現場に必要な音楽とは？

日本においては未だ音楽療法士が国家資格でないことでもわかるように「音楽療法」の在り方が確立されているとは言い難い状況です。2001年設立の日本音楽療法学会が国家資格推進委員会を組織して音楽療法士の資格を認定しているほか、大学や専門学校などが卒業生に資格を与えたり、岐阜県や兵庫県などが独自に認定したりしている現状では、「音楽療法」のとらえ方や実践方法に差異が生じてしまうのはやむを得ないのでしょうか。

「音楽療法」は学習であってはいけないとの大前提が徹底されていないのか、クライアント(利用者)が知らない歌を教えたり、リズムをとりながら手を叩かせたりする音楽療法士も少なくありません。もしもクライアントが新しいことができなくて落胆するようなことにでもなれば、「音楽」ではなく「音苦」になってしまいます。

いったい誰のための、何のための「音楽療法」なのかを、まず徹底する必要があるでしょう。

たとえば、日本音楽療法学会は日本人に「音楽療法」を行なう音楽療法士の資格認定試験でモーツァルトやベートーヴェンのピアノ・ソナタを弾かせる上、楽典の筆記試験を課し、外国の和音や速度記号や発想標語等の基礎知識を出題範囲としています。また、モーツァルトの音楽を聴くと脳が刺激されて自律神経の働きが活発になるため、モーツァルトこそが「音楽療法」の決定版であると明言する人さえいるのです。

しかし、日本人を対象とする「音楽療法」なら、西洋の伝統音楽ではなく日本の伝統音楽の基礎知識をもち、クライアントの世代が愛唱してきた歌を弾き歌いできる能力をこそ身につけるべきではないでしょうか。

上記のようなクラシック音楽至上主義は、音楽大学において音楽の教員免許を取得しようとする学生が外国の音楽ばかり勉強させられた結果、日本の伝統音楽を知らないばかりか、唱歌や童謡すらまともに歌えず、日本語の発声法も教えられないといった実状とも重なります。

日本人が日本のうたを歌うのはごく普通の日常的な行為で、ピアノがないからダメだとか、立派な声を出さなくてはダメだとかいう意識が先立つ方がおかしいのですが、学校の音楽教育においても「ピアノが弾けないから音楽の授業ができない」と訴える教師は大勢います。小学校の低学年でクラス担任が音楽を教えることにストレスを抱える現役教師の要請を受けて発表したのが、ピアノを使わずに音楽の授業ができる『藍川メソッド』です。